臺灣日日新報 夕刊
九月二十三日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市旭町(電話七八五) 基隆支局
臺中市榮町(電話四〇七) 臺中支局
臺南市錦町(電話長武〇) 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靱南通四丁目(ユタカビルディング內) 大阪支局
東京市京橋區銀座西四丁目(ヱ玉館內) 東京支局

革命兩都に大痛棒

“抗日”の廣東軍も我空襲にただ茫然

餘りに連續的且つ組織的さに戰意を失つて慄ふ

【香港二十二日發同盟】廿二日午後一時わが〇〇機〇台は又もや廣東を空襲、白雲飛行場に大々的爆擊を敢行し未だ破壞を免れてゐた軍事機關に對し爆彈を投下次で高射砲陣地にも爆擊を敢行し地上掃射を行ひ敵空軍並に防空施設に對し徹底的打擊を與へた更に午後二時半再びサイレンは鳴り渡り空襲警報を告げたがわが飛行機は姿を現はさなかつた支那軍はわが餘りにも連續的な且つ組織的な爆擊に依る防空陣地の破壞と空軍の大打擊に漸やく戰意を喪失しつつありわが威力の前に茫然たる有樣で夕闇迫る頃市內には六個の大黑煙立ち上り炎々と燃え凄慘の氣漲ちてゐる、中山大學附近の兵舍省、政府その他重要機關は燒失したと傳へられ國民革命發祥地として排日氣勢最も熾烈なりし廣東は今や擧げて混亂に陷つた

廣東を四度空襲

市中は大混亂の極み

【上海二十二日發同盟】わが海軍航空隊の廣東空爆は午後に至り第四次の爆擊を敢行長時間に互り廣東上空を旋回しつつ飛行場格納庫、兵營、軍司令部に爆彈の雨を降らした一日に四回もの空襲を受けた廣東市は混亂の極に達した

避難民停車場に殺到

(香港二十二日發同盟) わが空軍の連續的大爆擊に廣東市民の逃避するもの數十萬に達し汽車、汽船は超滿員で香港、澳門等に向け續々避難廣東驛は殺人的大混亂を呈してゐる

南京に爆彈の雨

思ふ存分要地擊破

(上海二十二日發本社特電)南京爆擊の警告發出後第一回の本格的南京大空襲は二十二日朝來密雲を衝き數回に互り我が海軍航空隊荒鷲の大軍を以て決行された、實に第四回目の南京爆擊であるこの日の南京空襲に參加したのは田中大尉の率ゆる〇〇機の數十機を先陣とし白相大尉の指揮する〇〇機及び〇〇機の數十機是に續き大塚少佐の指揮する〇〇機及び〇〇機の數十機は江陰附近下の敵艦を襲ひ、猪口大尉の指揮する〇〇機と〇〇機の數十機は再び南京を空襲更に他の一隊は夕闇迫る大場鎮の敵砲兵陣地に大爆擊を敢行敵に大打擊を與へ各隊無事本隊に歸還凱歌をあげた、〇〇飛行基地にて田中大尉は語る

雲低く視野を妨げられたが大いにやつつけて來た敵の戰鬪機は全く影を見せず高射砲のみが頻りに火を吹く中を屈ふ様に南京上空を旋回、中央黨部を始め軍事要地を爆彈の雨で大打擊を與へた

次いで白相大尉は語る　敵(機小型)にも立向つて來たので南京上空で物凄い空中戰を展開瞬く間に四機を射落したが野村兵曹(少年航空兵)は勇敢に敵機を射止め殊勲をあらはした、

大塚少佐は語る　江陰の江上に[illegible]型巡洋艦二隻[illegible]するを[illegible]め猛烈に爆擊を加へ二艦は見事[illegible]に命中黑煙の上るを確認して引揚げた、敵は一機も姿を見せなかつた

猪口大尉は曰く　敵機は姿を見せず悠々南京上空を乱舞片端から交通機關を爆擊し所々は大火災を起したのを確認した

英大使負傷事件に帝國政府が正式回答

外相、英大使に手交

【東京二十二日發同盟】駐支英國大使ヒユーゲッセン氏負傷事件については去る八月廿九日附英國政府の申入れに基き我が方では[illegible]に於いて現地の事實調査を進めると共に去る六日一旦英國政府に對し中間的回答を致し其の後更に調査の徹底を期する爲め中央[illegible]海軍省軍務局員高田海軍中佐を派遣する等飽迄事實の糾明に努める一方、廣田外相、堀内外務次官、山本海軍次官は數度クレーギー[illegible]日英國大使と會見、現地の事實認定につき種々意見の交換を行つた結果、今回漸く調査完了したので海軍、外務兩省協議の上二十一日廣田外相よりクレーギー英國大使を通じて英國政府に對して帝國政府の最後的回答を通達した、其の全文は二十二日午[illegible]外務省[illegible]より左の如く發表された

以書翰啓上致候、陳者支那駐劄英國大使サー・ヒユー・ナツチブル・ヒユーゲッセン氏の負傷事件に關しては[illegible]九月六日附往翰を以て回答に及び置きたる所、其の後上海及び其の附近に於ける取調べ完了せるにつき本大使は[illegible]に對し帝國政府は左の通り回答せんとするものなる[illegible]通報するの光榮を有し候、尤も周到なる調査の結果に據れば八月二十六日午後二時三十分頃本飛行機二機は豫定の南京上海間[illegible]用バス若しくはトラックと誤信せられたる事判明したる所、當時[illegible]以來日本飛行機は之に對し[illegible]頁飛行機の間に數次に亙り[illegible]の狀況に於いては現場調查を行ふ[illegible]ヒユーゲッセン大使負傷當時に於ける[illegible]る各種の報告に多分の相違はありしも日[illegible]動員等したりと報告せられたる地點に於[illegible]くは爆彈を投下せるもの無之事判明致候[illegible]いて同時に周到なる調査を遂げたる結果[illegible]

[illegible]如上の次第に鑑み帝國政府は本事件は大使の自動車を軍用バス若しくはトラックと誤認したる日本飛行機の行爲なりしやも圖られず思考するものに有之候、如斯同大使の負傷は固より故意に出でたるには非ざるも日本飛行機の行動に依りたるやも測り難き次第に鑑み帝國政府は英國政府に對し深甚なる遺憾の意の正式表示を爲さんとするものに有之候、關係當事者の處分に關しては帝國政府は日本飛行機にして故意若しくは過失に依り第三國人を殺傷したることが判明せる場合には適當なる處置を執るべき事勿論の次第にて右は[illegible]

昭和十二年九月二十一日　外務大臣　廣田弘毅

臺銀券發行高

【東京二十二日發本社支局特電】和田臺銀副頭取は二十二日左の如く語つた

臺銀券發行高は二十一日九千八百萬円となり昨年同期に比し千二百萬円の增加である、これが原因として考へられるものは米價好調、物價取引の盛況等二三のものがあるが要するに日支事變の好影響を受けたものと思ふ又或は一億円を突破するやうなことがないとも限らない、ただこの際注意を要するは[illegible]

一億圓突破もないとは限らぬ

和田臺銀副頭取談

[illegible]であるが往年臺灣大戰景氣の惡例に鑑み調子に乘ることはお互に自制する必要があると思ふ、殊に臺灣經濟の如き不生產的の仕事に汪丁を差出し得ない事情を[illegible]るが現在の經濟狀況から考へると年五分の配當はレベルから云つて少し下過ぎるかと思ふ、先づ適當なところは六分であらう今後臺銀としては增配抑止の方針は確りと堅持したわけだ、資金の處理に依る今後の當局の資金の處理については種々資料に取入れることになつた、多分二兩日中にこれに關する附令を公布されることならう

米國大使が江上に避難

爆擊終了後に歸館

【上海二十一日發同盟】わが海軍航空隊の南京爆擊に際し南京駐劄米國大使ジョンソン氏は揚子江上の米國軍艦ルソン號に避難したが爆擊終了後夕方大使館員と共に上陸大使館に歸來した、尙今後の行動は未定である

前途樂觀すべしと支那側の放送

【上海二十二日發】昨二十一日支那側國際放送は上海戰線の狀況を誇大に發表した後將來の見透しについて次の如く放送した

中日兩軍の實力を比較するに日軍は我に比し武器やや精良なりと雖も我軍の十萬は日軍の壯烈なる作戰の巧妙勇敢なる日軍の及ぶ所に非ず、前途至つて樂觀すべし

これについて上海戰線の我軍では大笑ひをしてゐる

慰問團南下

三氏の案內で

在北支部隊の慰問を終へた台灣慰問團は滿洲國慰問團の[illegible]長以下二行八氏は吉井大佐、佐藤理事官長尾[illegible]の案內で、二十三日午前九時五分台北發の急行で台中に向

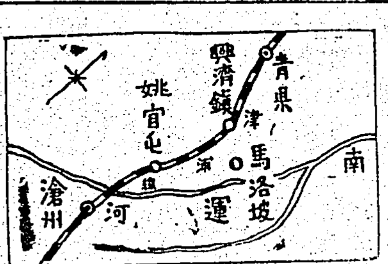
△△△△△ 驛長は狡奸

【大連二十二日發】[illegible]十一[illegible]所屬の[illegible]驛長は[illegible]員を[illegible]して[illegible]五百人を[illegible]秋に對して[illegible]

滄州城總攻擊

死物狂ひで抵抗の敵兵も皇軍の猛攻で漸次沈默

【興濟鎭二十二日同盟特派員發】入合村、姚官屯、馬落坡の第一線陣地を突破せる沼田、長野、赤柴各部隊は二十二日午前馬[illegible]擊に移り赤隊西に傾く頃敵が最後の陣とする滄州を取卷く水郷陣地に肉薄し午後六時三十分を期し更に[illegible]な集中砲火を浴せた、各水路は幅約十米、南運河の水を引いて西より東にかけ數杆に及びその後方に堅固な陣地を築きこれに據る第二十九軍は中央軍督戰隊監視の下に死物狂ひで抵抗した、沼田、長野兩部隊に依る砲擊は午後十時三十分に至るもなほ猛烈に繼續され彼我の射ち合ふ砲戶は殷々として夜の滄州縣城に響き渡つたが午後十一時過ぎに至り敵陣左翼方面がわが砲擊に依り先づ沈默し右翼敵陣地も次第に火勢衰へつつある(凸版は滄州城)



一番乘りを目差す

【興濟鎭にて同盟特派員二十二日發】二十二日正午既に姚官屯附近一帶の敵陣地を完全に掃蕩したわが長野部隊はその一部をもつて午後三時三十分疾風迅雷滄州一番乘りを目指して進擊した

五里屯を占領

【天津二十二日發同盟】軍司令部二十二日午後八時發表　津浦線大城南方二キロに進出せるわが助川部隊は引續き五里屯大城西南方二キロ附近の敵陣地を攻擊し本日同地を占領せり

五キロに接近

【姚官屯にて同盟特派員二十二日發】滄州方面の敵州側面陣地に飛來し姚官屯西方の東花元及び西花元陣地に猛爆を行ひわが空軍〇〇機も二十二日早朝爆擊に呼應してわが赤柴部隊は敵の虛に乘じて突擊して午前九時過ぎ東花元を占領し更に[illegible]引に急進中である、斯くて赤柴、沼田、長野の各部隊の猛進擊は姚官屯を陷れ馬落坡を攻め敵の第一線陣地に完全に肉薄しわが先頭部隊は早くも滄州を距る五キロの地點に迫つた

南京空爆に關し米日會談を希望

【ワシントン二十二日發同盟】ハル國務長官は二十二日定例共同會見において米國政府は日本空軍の南京爆擊に對し東京駐劄大使ジョセフ・グルー氏を通じて再度廣田外相に申入れる旨を發表した

貴院慰問使

【東京二十二日發同盟】貴族院の上海派遣慰問使は左の如く決定した、一行は二十六日東京發十月十日頃の歸着の豫定である

徳川家達伯、井上清純子、土岐章子、細川護立侯、松平乘承子、風見八左衛門、酒井忠正伯、[illegible]、伊豫田氏

綏遠軍第一線完全に包圍

千田、一宮兩部隊に

【大同にて同盟特派員廿二日發】平地泉に向け進擊中の千田部隊は主力をもつて平綏線西側の高地を前進せしめ二十一日午後七時迄に楊樹溝西方四キロを距たる五蘇木を確保した、一方平地泉より平綏線東側を迂回して進擊した一宮部隊は同日午後九時頃楊樹溝東方千二百七十七高地を占據し綏遠軍第一線部隊を完全に包圍、有利な態形になつた

その日その日

○日本が怒らせる結果が、どんなものであるかを、先づ知つて置くと味はふ宜しい

○[illegible]に加担してゆく。問題の日の、[illegible]ろしさを思ひ知れ

○平漢線の保定、津浦線の滄州、平綏線の綏遠、何れも先に陷ちるか、三巴か、三巴戰とも、吳兒必死

○ヒユ英大使負傷事件に對する我が回答文は、前同の如く稀形は無いが實に琉球を極めてゐる

○多少のアヤは有つても、「円滿解決」に越した事は無い、それに中間回答のヒットも出てゐるし

○秋天、行樂の秋もない非常時の戰士たち、懷擊、突擊、前進、占領それのみが“行樂”

○秋の“彼岸”に入り、今次事變による戰歿者英靈に、改めて感謝と默禱とを捧げたい

人事

▲中川彥氏(明治製糖常務取締役)二十四日高砂丸にて上京
▲西村小太郎氏(三井物產基隆出張所支店長)二十二日來北(鐵道ホテル)
▲小野田作藏氏(臺灣鐵道部工場)二十二日基隆より來北
▲佐田俊介氏(新竹州內務部長)廿二日來北(朝陽號)
▲谷口巖二氏(殖產局技師)廿二日來北(朝陽號)
▲中村清市氏(九州大學教授)四日高砂丸にて內地へ
▲梅野揚太氏 廿四日高砂丸にて上京

無絃琴

★この間來台した北支[illegible]の星たち、慰問團一行を迎へに[illegible]流行に現地[illegible]の話題を危險を冒して親しく見舞つて來たのだけに、ピチノ〜した語り口で[illegible]を彩山に往入れ込んで[illegible]その中から[illegible]次に……▲「日本軍のタンクの中には、〇〇〇〇〇〇〇〇大砲[illegible]へてある、之は敵のタンクに衝突すると、出鼻けて行つて〇〇〇〇タンクの砲をヘシ曲げてしまひ、鉄條網から〇〇を突き込み內部の敵を殺戮するといふ恐ろしい必殺の兵器です」▲「その[illegible]、その[illegible]がまた[illegible]しい、その[illegible]はどうでもよいことだ[illegible]」▲敵は[illegible]ケースを示す[illegible]

浮標のごとき女

(93)

尾崎士郎作
梁川剛一畫

失踪 (二)

しかし、龜近はそれ以上追究しようとはしないで、

「どうです？」

と一戸の顏に笑ひかけた。

「御用がおすみになつたら早苗さん話が何ひたいんですが」

「ええ―」

早苗の顏に意味ありげな微笑を投げながら一戸が云つた。

(だが彼は何も特別なことを考へてゐるわけではない―唯、白石の憤氣切つた顏と早苗の不安さうな顏とを等分に眺めてゐることが何か不思議なことのやうに思はれたのである)

彼はしばらく口をもぐつかせてから、白石の方を向いて、

「いづれ、そのうちお目にかかりませう」

と、一戸の方を向いて云つてから慌てて反對側の階段をおりていつた。

「一體何ですかね？」

龜近はきよとんとしてそのうしろ姿を見送つてゐたが、急に大声で笑ひだした。

「まるで見當がつきませんね―あの女とあなたと何か關り合ひがあるんですか？」

「いや」

歩きながら今夜の出來事を手短に說明すると龜近は、

「片森といふんですね、その男は」

と一瞬を押してから、

[illegible]うになつてゐる早苗の身體を支へながら平守が元氣のいい声で、

「近いうちにゆつくり會はうちやないか」

と低い声で言つたが、その成算のない慰めの言葉はかへつて白石の心を前より一層やりきれないものにしたらしい。

「とにかく銀座へ出よう―一つ驗直しでも飲んでさつぱり別れようちやないか」

と平守が氣のない声で誘ひかけるのに答へようともしないで、白石は脇にこみあげてくる感情をぐつと抑へながら、

「いいです―もういいです」

と、誰に云ふともなく早口に云ひたいと思ふと、挨拶もしないで階段を下りていつた。東京驛の階段の中へ入ると寒のために眼がしらが熱んできた。歩くごとに彼の體はこみあげてくる苛立たしさで一ぱいになつた。ああ一體何が起つたのだ。否々、何が起りかけようとしてゐるのだ。―彼は烈しく頭を振り、「おれは」「おれは」と心に叫びかけながら同じところをぐるぐる歩き廻つた。おれは何をしたのか、何のためにこんなところを歩いてゐるのか？

一盞の階下では、今にも崩れさ

「怪しからん―實に怪しからん」

と極めつけるやうな声で言つた。

「舞台にようちや僕が改めて一肌脫いでやつたつていいんですよ」

今まで自分の腰かけてゐたテーブルに腰をおろしてから、やつと思ひ出したやうに、

「ところで―その後、お嬢さんになりましたか、ブロムリイズのマダムに？」

「いいえ、會ひませんよ」

「さうですか」

彼はしきりにあたりに氣を配りながら兩肘を突いた。

「實は、今朝、會つたんですよ、あの女のパトロンに？」

「高野さんですか？」

「ええ」

にやりと笑つてから、

「何も彼もぶちまけて話ひませう、實は今から高野さんに會つていただきたいと思ふんですがね」

「僕がですか―？」

「さうですよ、むろん僕がいつしよにゆくんですがね、詳しい話はあとにして、とにかく會つて下さいよ、あなたは側にゐて黙つてうつしやればいいんですから」

兗州、濟寧、徐州に 大空爆を敢行

徹底的打撃を與ふ

【旅順二十三日發同盟】第○艦隊○戰隊飛行機は廿二日午前、午後の兩回に亙り敵の防禦砲火を冒して津浦線兗州、濟寧及び徐州に果敢なる空爆を敢行、飛行場、火藥庫、軍用貨車その他軍事施設に大損害を與へた、本空爆において兗州攻撃の一機は敵の砲火のために機體より火を發したる儘敢然敵陣に突入し搭乗者阿部、梅澤兩一等航空兵曹は壯烈な戰死を遂げた

床し、鐵兜の中に野菊

川名部隊長壯烈な戰死

【上海二十三日發同盟】二十二日午後六時三十分川名部隊は敵が難攻不落を誇る劉河鎭正面の無名部落附近の敵に對し攻撃を開始し、敵が高台の地の利を恃んで機銃、小銃の猛射を浴せる中を川名部隊長を始め全將兵拔刀突劍の突撃を行ひ水量の增したクリークを渡り降りしきる豪雨の中に敵陣に突入、白兵戰時餘にして所定の陣地を確保した、この日決死の決意を固めた川名部隊長は床しくも野菊一輪を鐵兜の中に、家傳の名刀を揮り翳して敵陣中に躍り込み激戰中胸部を敵彈に貫かれ江南の華と散り、又○隊長以下永木少尉も壯烈な戰死を遂げた、この戰鬪は劉河鎭攻略戰中の最も激烈を極め、敵は陣地内に死體二百數十を遺棄し後退、わが方も死傷者四十四名を出した

突如·敵が橋脚切斷 ○車激流へザンブリ

永山部隊長眞ツ裸になつて 銃火中に部下を救助

【平漢線○○にて二十一日發本社特電】去る十五日午後四時三十分過ぎ我が今田、永山兩○車隊○○台は拒馬河上流に架せられた敵軍の橋梁を破壞、逃走前に確保すべく出動附近の敵を掃蕩して拒馬中附、佐久間一等兵搭乘の○○車を先頭として渡河を開始したが同車が橋脚となつてゐた最後の鐵船上に差掛つた瞬間對岸の堤防の陰に隱れてゐた敵兵が支へのロープを切斷した為め隊長車はモンドリうつて滔々たる激流中に全くその影を沒してしまつた、之を見守る我が○車隊も如何とも手の下しようなく固唾を吞んで傍觀する中、先づ拒馬中附が激浪中に頭をもたげ次いで佐久間一等兵が姿を現したが見る見る中に二十米、三十米と激流に押し流され漸く岸辺となつて對岸に上つた、頭上には敵の銃限がズラリと並んで火を吐き身動き一つ出來なかつた、斯くて二時間兩名は敵前に暴露されたまま凝然たる緊張の中に沈黙となつたがこの時永山部隊長は大声を張り擧げて「オーイ、泳いで來い」と呼ばはつた、それと悟つたのか兩名は再び激流の眞ツ只中にザンブと飛込み拔き手をきつて泳いで來たが敵彈は雨霰と水面に飛んで來る、之を見てゐた永山部隊長は隊長車を飛び出し眞ツ裸となると見るや水中に飛込み二人を目掛けて泳ぎ寄り疲勞と飢餓の為め死人のやうになつた兩名を兩側に抱へるやうにして無事歸還した期せずして我が○車隊から歡声が揚がれば敵も亦射撃を止め呆然たる有様だつた

傷兵に箝口令

李第九師長が

【上海廿三日發】支那軍の軍規風紀紊亂し逃亡兵多き為第九師長李延年は堅く部下を戒めたがその中に傷兵がしきりに戰場の苦痛を訴へ看護兵及び慰問者に對して上官を罵る事を嚴禁してゐる

筆のつゞく限り 書いて見る考だ

本社特派從軍記者 福永少佐語る

【本社東京支局航空便】本社從軍記者として上海戰線に特派される豫備海軍少佐福永恭助氏を飯倉の自宅に訪へば、丁度テル子夫人を督励して早くも出發準備に忙しさう、福永氏は軍人らしくテキパキと語る

もうこれからは冬仕度の用意をして行かなくちや現地で寒くなるからね、全く二重の手廻はしが必要だし、それに新聞社の從軍記者となつて出るのは始めてだから、勝手が判らなくなつて大マゴつきさ、上海には昨年の十一月末に半月ばかり東京小説「上海陸戰隊」を書くために、僕と同期の近藤陸戰隊司令官を訪ねて行き、第一回の上海事變の戰場の跡を案内して貰つてゐるので

地理だけは 大體覺えてゐる

僕の上海に居た當時も劉田武官の熱勤をはじめ中國共產黨の策動によるテロ行動が盛んに行はれ、今日の前觸れをなしてゐた譯だ、呉淞砲臺から閘行鎭、八字橋、江灣鎭等今の戰場となつてゐる所を見て廻つたが閘行鎭には奇怪にも敵の戰勝紀念碑が建てゝあつて僕等二勇士の紀念碑等は何處かに持去られてしまつて跡形もない始末だつた。當時から支那軍が便衣隊を無視して作戰やトーチカを盛んに造つてゐたことは歴然たるもので、支那の築たトーチカに似てゐるのを利用してカムフラージをしてゐたものらしい。僕等が飛行機を見に行くと保安隊が嚴重に監視して

近寄らせない有様

だつた。どうも怪しいと思つてゐたがあれほど準備してゐるとは思はなかつた。上海から南京まで例の十四人乘りのダグラス機で飛んだが、其時支那も相當なものだと感心して來たが、長江一帶は山はなく氣流がよいので、エアポケットなどといふものもなく、飛行機の發達する樣うに出來てゐると思つたね。しかし空中戰となると別だ、一機で敵機五機を打落す程の戰鬪機にくらべてみれば問題にならん、何しろ日本の海軍機は外國の優秀な飛行機を目標に猛訓練をしてゐるのだからね、僕も出來るものなら南京爆撃機か戰鬪機に乘せて貰つて勇い決死的な實戰をみて來たいと願つてゐる。渡洋爆撃を敢行した海軍空襲部隊が、上海の敵機を相手にしないで、敵の本陣を衝つて、陸軍が上陸するまで

敵の攻撃力を非常に

弱らせてしまつたことは大成功だつた、實際今度の海軍陸戰隊も少人數ながらよく戰つた。從軍記者となつた僕は海軍畑だから、主に江上艦隊と陸戰隊の活動や海軍航空隊の活躍ぶりを觀戰し、更に第○艦隊の行動振り状況を見てみたいと思つてゐるが、一面僕は大正三年の青島戰にはまだ若い中尉で海軍重砲隊の副官として參戰し、第十八師團の山梨半造參謀長と毎日連絡して陸上作戰に當つた經驗もあり陸軍上陸部隊の第一線の戰鬪状態も筆のつゞく限り書いて見たい、北支の大野戰も大變苦勞だらうが、僕は上海の地理をよく知つてゐるだけに上海戰の進みの

遅い理由も よく判る僕の

中尉時代の青島戰なんか問題にならんよ大體ドイツ兵には援軍も來ないしヂリヂリと正攻法で行けばよかつたんだから、全く模型のやうな戰爭で面白かつたよ、それでも彈は當れば死ぬからね、それからもう一度僕の戰爭の經驗は、同じ世界大戰の大正六年、日本が第二特務艦隊と云ふのを編成して地中海へドイツの潜航艇をやつつけに行つたその當時僕は大尉で、その地中海艦隊の參謀で行つたものだが、今の上海へ出動して居る第○艦隊の旗艦○○が、其時も旗艦で、日本の驅逐艦十二隻の外にイギリスの驅逐艦二隻

特務艦二隻に 日本の旗を立てて

世界各國の艦隊と一緒に活動したで、その僕等の艦隊の戰つたドイツとは今は日獨防共協定を結ぶ迄の仲になつたのだから時勢も變つたものさ、何れにしても今度僕が上海に行つたら、大川内陸戰隊司令官は僕より一つ下のクラスだし同期の少將級の連中も沢山行つてゐるし、また同期生の最近の教育時代の教へ子の大尉、少佐級で陸戰隊の部隊長級をして居るでしよう色んな特別の便宜を計つて貰へるだらう、これからは

ペンだけでなく カメラも最近

文藝春秋等を寄稿して油に乘つてゐたところだし、カメラと文章をくつつけた通信連載寄稿等もとつてみたい、僕は海軍をやめてから川端畫學で勉強したり、フランスへ行つたときパリで畫學校に通つて習つたが、今じや伜の方がうまくなつてゐるペンとカメラと繪と云つた具合に意だけは大きいが[illegible]少將や武[illegible]少佐のやうにうまくやれるかどうか解りませんが、どうか宜しく

福永少佐の略歴 福永少佐は東京に生れ、山口で育ち、未大海兵大村の後養、明治三十八年の海軍兵學校出、大正三年青島戰に中尉で出征、大正六年世界大戰に地中海艦隊の參謀として參戰、大正十二年の大震災後少佐で豫備役に入つた、以來文筆の生活に入り、巴里に外遊、繪の勉強に行つたことは永野修身大將と並ぶで海軍出の變り種、今日まで十數年間の文筆生活に於いて、その著述は「日米戰未來記」「三等水兵マルチン」「海戰」「十字軍海戰」「海の戰物語」「少年少女のための三笠物語」等數十冊に及ぶ。また ローマ字研究の權威である

武人出の文人 福永恭助氏を特派

本社記者として上海へ

武人出の文人として名ある、福永恭助氏の快諾を得て、本社は同氏を上海戰線に特派員として派遣することとした。同氏は豫備海軍少佐であり、過ぐる青島戰に、又世界大戰等に參加し、先年は上海の地を親しく踏破して同方面の地理及び實情に詳しい、別項福永特派員の談話に見る如く、文人著述家としての外に寫眞や繪畫に堪能であり、その武人としての知識、經驗と玲瓏なる文章とは海、陸、空に亙る上海戰線の實情を描出する上において、恐らく他の追隨を許さぬものあるべしと信ず（寫眞は福永特派員）

臺灣日日新報社

四百の本島人女工 出征監督に千人針

血染の日章旗を添へ

台北市龍口町の日東拓殖製茶工場に働いてゐる四百の本島人女工さん達が兄とし頼む監督二名の出征を心から送り染文腹卷の行を贐んにした内台融和の美談がある——同工場からは既に北支戰線に活躍し敵の機銃を掴ひそれで敵を撃ち捲つたと云ふ勇士深田一等兵を出したが、同工場二階に現場監督として勤務してゐた山田利夫君と市村雙次郎君の兩君の上にも去る○日赤紙が傳達された、揃てこのことあるを心待ちにしてゐた兩君は早速ザン切り頭に若返り軍服姿も凛々しく出動するや女工達は出征の日を爲べく十重二十重と取巻き祝辞や激勵の辞を浴せた、年頃の娘さんばかりとて果ては感極まつて涙を流し合ひ、声をうるませつゝ武運長久を祈り萬歳を絶叫した、兩君も涙を呑で拂ひ「立派にやつて見せる、有難う」と必勝を誓ひ「僕等がゐなくなつてもしつかり働いて呉れ」と銃後の守りを誓はせ暫しは声を發する者とてなかつた、其日作業も終り退社時刻が來るや姉さん株數名が代表となつて千人針を申出た增田出張所長はその殊志に打たれたが「内地人の姉さん方がなさることになつてゐるから思ひ止まる」やう聽かず どうでも奉仕を斷念しようとしない、それ程までに思つてゐるのならばと申出を許したところ四百の全女工が一人一針心から縫ひ上げ一夜にして立派な千人針をこしらへてしまつた、それだけでなく大平町七ノ一陳氏錦霞さん(二〇)の如きハンカチ大の手旗に小指を切り滴る赤き血潮で日の丸と大日本の三字を書きしたため、又建成町一ノ一七九林氏秦さん(二〇)は[illegible]兩乙女の赤き心を滲ませて兩君へ贈つた、斯くて

門出の○○に同工場前に全員堵列[illegible]萬歳を三唱、女工達を解散せしめんとしたが、私達の監督さんだから○○染らせることとなり感激も勇ましく、山田君は血染の旗を肩に、中村君と共に先頭に立ち堂々と出發した

今日の臺日忌 本社物故社員を供養する台日忌は二十二日午前九時より円山臨濟寺に於て嚴かに執行された定刻となるや伴僧五声、同寺声の讀經裡に顧問の導師の表經の後本社河村社長、大澤主幹、長谷支配人以下參集社員多數の焼香あり四弘誓願の後閉式した、同閉式後一同揃つて直ちに動物園裏山の墓碑に詣で同九時四十分頃散會した（寫眞は墓前の記念撮影）

籾一石につき 一圓づつを醵出

新竹市内の公業及び祭祀公業から

【新竹電話】新竹市本島人有志各は時局の重大性に鑑み過般さきに一萬五千圓の國防獻金を募集したが最近に至り州會議員許延謨、同張式穀、市會議員陳共純、同陳福發、同林燦三の五氏はこの際大いに出征軍人の家族救助に努むるは勿論特に戰後の遺家族に對する共助慰撫を徹底せしめ後顧の憂なからしむる為めに市内の公業及び祭祀公業の籾一石につき一圓を醵出し出征軍人遺家族の慰問金とすることの委協で市當局に諒解を求めた所大いに激勵されたので直ちに募集に着手したが市内の公業、祭祀公業の籾は七千五百餘石に及んで居るので約一万五千圓が醵出される譯である

建設費に寄附 【基隆二十二日發】基隆郡衙所得稅調査委員松井、飯干、久喜、日吉、馬榮通の五氏は先に開催された委員會の委員手當として二十一日交給をうけた金二百九十円をそのまま基隆郡飛行場建設資金に寄附した

宮前青年團の結團式 今度新らたに結成された台北市宮前青年團は秋季皇靈祭の佳日を卜し二十三日午前九時より台灣神社大前で盛大な結團式を擧行、同九時半頃閉式した

引揚げ支那人は 更に一萬二千餘名

いづれも失職勞働者

本島在留の支那人は約六万と推定され、其内今次支那事變に際し歸國したものは約二万人であるが、恐らく台灣に在留して幸福なる生活を送つて居る支那人は戰亂の本国に歸るを喜ばず、其上我艦隊の全支沿岸封鎖の為め支那船舶に依る、引揚民の運搬が不能となつたので南京政府は出稼、上海に在る英國貨物船（四千噸）をチャーター中であるが、近く基隆に入港して二千四、五百名宛廈門に廻航、對岸廈門へ本島在留支那人を三回に分け運搬する事となつたが、在台北中華民國總領事館で歸國希望者を募つた處、五万人の内僅かに一万二千人、しかも是等は皆失業勞働者で、一定の職業に就いて居る者は歸國を喜ばず、我国の在支那人の引揚げと對照して非常な相違である

避難民も還り 高粱を取入れ

涿州平野に平和の氣

【涿州二十二日發本社特電】涿州一帶の敵を掃蕩し去る十八日遂に皇軍の手に歸した涿州平野の大會戰もやうやく一段落を告げ敵の前線根據地たる涿州城も數日前までは戰火の巷であつた涿州も今は既に皇軍の警守に平和の中に[illegible]もなく打ち殘されてゐるが警城に十二日頃には附近四十二箇村村長の集會が盛大に行はれた、避難中の住民も大常に還り始め日本軍歡迎と記した日の丸の腕章を腕にした住民は嬉々として高粱の穫入れに汗だくである、城外に一歩でも出れば敵兵の死體はゴロゴロして居り野良犬と豚とがこれを喰ひ合つてゐる凄慘な光景だ、上には日本軍司令官の安民布告が貼られ赤いチャンチャンコを着た子供達まで日の丸の小旗を振つて到着する我軍を迎へてゐる、親切な農民が家の中に招じ入れて茶や煙草を出して歡待して呉れる、我軍占領以來僅か數日、涿州城内は平和の氣漲ち住民の顔には安堵の色が輝いてゐる

辰和丸が進水

【神戸廿二日發本社支局特電】辰馬汽船が台灣へおくる豪華な贈り物優秀貨物船四隻の中其第一船辰和丸は去る五月一日神戸三菱造船所にて起工以來、鋭意工程を急いでゐたが、此の程竣工二十二日の佳日を卜し午前八時十五分の滿潮を期して進水式が擧行された、來賓として阪神官民約一千名、甲陽中學等の參觀者五百名の盛觀さ、辰馬吉男、山縣勝見氏等辰馬側代表者、伊藤常務、松井所長等三菱側代表者列席、先づ辰馬合資社長辰馬吉男氏の命名があつて辰馬直治郎氏令孃が止綱を切斷、無事進水した、同船は總噸數六千二百五十噸、速力十六節半あり台灣航路専用船故バナナ輸送に特別施設を有する豪華優秀貨物船とするわけで竣工は十一月中である

病弱の 人がメキメキふとる

胃腸が悪く便秘や下痢で痩せる人が[illegible]安眠も出來て、メキメキふとる月刊健康法が研究され、再び治らぬ人々が全治り大喜びです 目下これを全国に普及のため、誰にも判る「月刊健康法」を一家一冊限り無代進呈中ですから、東京神田一ツ橋、帝國教育會館内國民健康研究會宛に[illegible]

博徒檢擧を妨害

前科四犯の本島人

【基隆電話】二十一日午前八時頃基隆市元町一丁目[illegible]の家台に於て本島人博徒が八月あかまはす賭博を開帳、折柄係の警官が逮捕せんとするや逸早く逃亡したので追跡中突然一本島人が[illegible]を出して巡査を顚倒せしめ博徒の檢擧を妨害した、右は元町四ノ二五無職前科四犯陳[illegible]と云ひ友達の為に男を見せようとしたものとあり、公務執行妨害罪としてその場から檢擧され友達の代りに豚箱入り

高校の入學試驗 來春から大改正

綜合的考查を行ふ

【東京二十二日發本社特電】[illegible]

◆タイゲキ 1支那事變ニュース 2旅の陽炎 3幸福の素顔

◆新世界館 1パ社ニュース 2御家人正吉 3快浪人天国 4世界大動亂

◆大世界館 1お化トラクター 2スキング 3日支事變特報

◆芳乃館 1大阪國際ニュース 2大毎北支事變ニュース 3女同志 4四谷怪談

◆國際館 1暗殺者の家 2かりそめの幸福 3支那事變ニュース

今晩の映画

あすの天氣 臺北地方 北部地方 東部地方 西部地方 南部地方

山東丸より(來航)

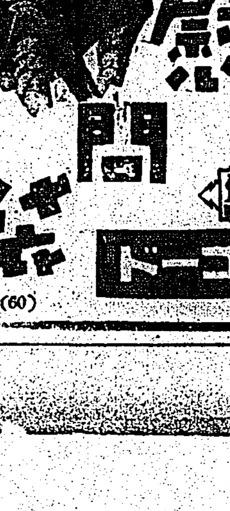
割烹 梅屋敷
御料理 竹の家
割烹 新喜樂
割烹 梅本
割烹 日本亭
蒲燒 天ぷら 御料理 柳川 中惣
御料理 紀州庵
蒲燒 天ぷら 柳川 江戸長
すき燒 御料理 壽司 まねき
事務員募集 出光商會台北支店
店内改築竣工 女給多數募集

日本陸軍軍歌 あゝ戰友 陸軍戸山學校軍樂隊 タイヘイレコード

ハギレ卸 津村合資會社

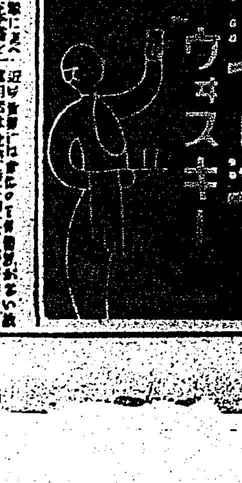
東京日日新聞社・大阪毎日新聞社懸賞當選歌 進軍の歌 陸軍戸山學校軍樂隊 一家に一枚! 皇軍歡送に是非! 十月新譜 十五枚同時發賣! コロムビアレコード

生徒募集 公認 東洋自動車講習所

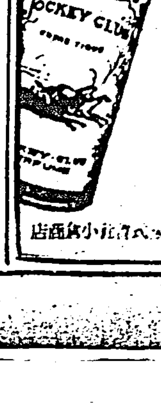


獨乙 皮膚科學界の最高權威ウンナ博士發見に係る最新のフケ・かゆみ・拔毛止め養毛料

フケ・痒み止め これ以上の品 絶對無し! 丹頂ヘヤートリン あとの整髮には丹頂チックが最適です



夫婦讀本 月やく



激痛忽ち解消! りん病には十日藥

家庭と婦人

お臺所の非常時に 榮養を攝る秘訣
買つた物を決して捨てるな

非常時局の秋、お台所をあつかる主婦は何事にも節約を旨として居ると思ひますが、しかし、家族の榮養には兩缺かさない様に頭を使はねばなりません。

無駄もしない様に、且つ又經濟的にあげようと心掛けてやつてみても、なかなか思ふ様にはならぬものです。それでは、どうしたら上手に出來るかを再びここで考へ直す必要があります。

×

第一　買つたものを決して捨てる様な事をせぬ様にする、たとひ少々位お野菜等しなびても、之を無暗に捨て入れないで用ふる工夫をして下さい。大根の葉の部分等捨てるのは勿體ない事です。これは砂糖漬にしても煮つけても美味しいものです。

野菜の皮も除る必要のあるものは仕方ありませんが、なるべくこれを除らずに食べることでその方がいくら榮養によいか知れません、綺麗に洗つていたんでゐる部分だけ取り、皮付のままで調理してよいのです。葱の青い所は多く捨てられますがこれは小口から切つて味噌汁に入れればこの上もない好物です。

×

第二　は家族の人數に對する必要な分量を一定しておいて、それ以上は決して買はぬことです。各家庭ではこの標準をたてて、やつてゐるか否かは頗る疑問です。然し大根御しにするので買ふとしても一本買はねばなりませんから餘りを無駄にせぬ樣にするには煮附けるとか、漬物にするといふ風に調理法をかへてゆけばよいのです。そして萎びた野菜は生姜でも人參でも糠味噌に入れて頂く様にまた古漬のものは水だしして刻生姜とまぜて頂けば新漬と違つた風味を發見されるでせう。

×

第三　魚類ですが、一切三十錢の鯛よりも一匹の鰯の方が營養價が遙かにあります。この鰯なら鯖、鰺、秋刀魚など脂がのつて美味しく、値段もお安くなりますから、いふものを上手に調理して食べませう。また、魚のアラなどはお安いので、新鮮なものなら、一度湯に通してから生醬を入れて時雨煮にしてごらん下さい。之がアラかと思はれる位美味しくなります。まぐろのアラなど小さく刻んで時雨煮にすればよろしいのです。

×

第四　鶏卵が高いやうです。それで必ずしも卵を食べなければならぬ訳はありませんから、それを補ふ為に豆類及び豆腐、油揚、納豆等で十分に間に合ひます。

×

第五　肉類もこの頃高くなりましたが、これも、經濟的にするには小間切を買つて野菜と煮付ける樣にすれば榮養價の點からも滿點です。

×

第六　子供には大人よりも御馳走を食べさせなければならないのですが、しかし、何も食べる習慣をつければ大した心配はありません。それでこの際子供にも兵隊さんの話をして食物の好き嫌ひを言ふのは勿體ないこととして偏食の習慣を改めて欲しいものです。（進藤眞砂）

御存知ですか ―カンカン帽の利用法―

もういらなくなるカンカン帽をゴミ箱へ捨てたり、棚の上へ投げあげておくのはどうかと思ひます。これを利用して役に立ててみませう。

一、ツバをとつてリボンや中の皮を去ります。そのままでもよし、これに日本紙を貼り、ボールのフタをつけると、楕円形の籠が出來ませう。これにカラーや半襟など入れてはいかがです。

二、ツバは適當に切つて組合せて土瓶敷などを作ることが出來ませう。

三、黑のリボンは子供服の附屬品や、細紐になりませうし、中皮は兒童の草履袋の修繕に使へますし防水マントの穴かがりにはよいものです。又台所用の下駄のすげかへの緒に工夫するなど、カンカン帽のお古だつて仲々馬鹿に出來ませんよ。

雜誌紹介

▲大日（第一五九號）事變の擴大と議會（山田武吉）時局と臨時議會（日比芳太郎）肺政擺扣倒ある而已（西村談三郎）支那の土俗の信仰（赤松又次郎）東洋醫科大學の急設（大島盛二）日本眞珠船の活躍（多井作喜悦）その他（〇・三〇、東京神田・司町一ノ一〇其社）

身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛御申込下さい、電話や面會は御斷りします

赤ン坊の靈に祟られる

問　私は毎月惱み續け日一日と淋しい性質になり近頃では世の中が厭になり自殺しようかとさへ思ひつめてゐます。私は祟りをうけてゐる者です。私の八つか九つの時でした、同居人の赤ン坊で生れてまだ六箇月位の子を抱き近所で演劇を觀てゐましたが、つい面白さに我を忘れたと見え過つて赤ン坊を下水に落しました幸他の見物人の為救出されましたものの、その子は何日か後たうとう死んでしまひました。子供の兩親も私の幼い過ちとして許して下され、何時とはなしにその事は忘れて十年餘り過ぎたのです。所が近頃になつて、無闇にその事が想出され、忘れようとしても忘れられず毎日惱みの種となり、誰に相談してみようもなく困り切つてゐます。若し其の子の魂が祟つてゐるのなら、潔く自殺して彼の世でおわびしようかと思ひます。それにしても後に殘る父母の事が氣にかかりますが、兄弟三人もあるのですから私一人位居なくなつても差支はないでせう、どうしたものか迷ひぬいて夜もろくろく眠られず、其は仕事も手につきません。この祟りをなくす方法はないでせうか、彼の世へ行かぬとすれば僧になつたらどうでせうか（SN）

子供の傳言

答　その子供さんのお傳言を貴君にお知らせしよう、その子供は神さまのおそばで健やかに育つてをり、にこ／＼しながら、『何で私が祟りませう、兄さんに、つまらない事を氣にやんでぶら／＼してゐないで一生懸命働いて、私の分まで世の中の為に御奉公して下さい』と申上げてくれとの事でした。全くですよ、貴君を恨んだりなんかしてはをりません。君が夢のやうな妄想をゑがいて沈んでゐると、子供さんは却つて心配します。子供さんは、兄さんが元氣で働いてゐるのが一番うれしいと言つてゐました。運命とか宿命とかいふものはお互ひ人間同士に判るものでない、そのお子さんの宿命に貴君は關係があるのではない、それに責任を感ずるといふことは人間として結構な事ではあるが、その為にクサッたり祟るなどと子供さんをバケモノ扱ひにしたりするのでは却つてよくない、人一倍働いてその子供の分まで孝行でもしようといふので始めて供ひが出來るのです。自殺など以ての外、くよ／＼して沈んでをり體でも惡くしようものなら子供を喜ばすことが出來ないどころか皆の人に心配をかけて大不孝です。うんと體を丈夫にして働くより外方法はありません、祟りなんといふものがかりにあるとしても丈夫な體と旺盛な活動には寄りつく事は出來ません。今や舉國一致の緊張は進められてゐる時です、若い者がつまらぬことをくよ／＼してゐる場合でない、精神を作興して大いに働きませう、子供さんは貴君の働いて／＼働きぬくことだけを願つてをるのです（完）

味の素と小罐特賞（登錄商標）

大好評 賣切れ迫る！

洩れなく

抽籤で

景品　パーキュロ（赤ちゃん打ち粉）
味の素本舖直系・寶製藥株式會社製
一個宛進呈

パーキュロ、はお求めの際進呈、抽籤券は十一月中旬、本新聞紙上で當選番號發表まで御保管願ひます

①
婦人用クローム側腕時計 一個
婦人用雨コート地 一枚
純銀製シガレットケース 一個
旅行用鞄 一個
上等毛布 一枚
うち一品宛……一、〇〇〇口

②
置時計 一個
裁縫用具セット 一組
名古屋帶 一筋
晴雨兼用パラソル 一本
銘仙座蒲團地 五客分
うち一品宛……二、〇〇〇口

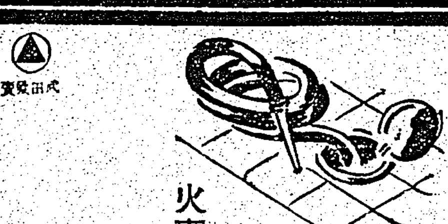
③
クラブ化粧品詰合函
一個宛……二〇、〇〇〇口

宮內省御用達　味の素本舖　鈴木商店

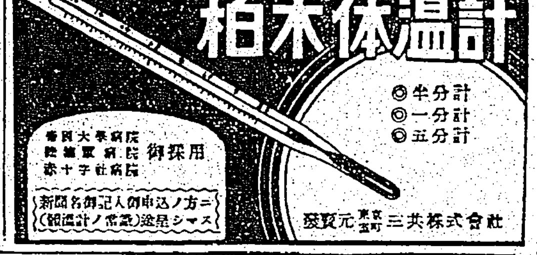
H—9

臺日案內

内地土產　麻豆文旦　臺北市本町三　矢野商店　電話五一二二番
樂器　山葉オルガン　月賦販賣　臺北市榮町三　日本樂器會社
レコード蓄音器　新古洋樂レコード　買賣　臺北千歲町　河合樂器小賣部
寫眞　8ミリ　小型映畫時代來る　コダック撮々入荷　臺北市榮町　西尾商會
カメラと材料　フタバ寫眞機部　臺北市榮町二　電話七〇〇貳番
時計眼鏡　メガネ專門　金光堂　學生優待　兒玉町電話貳九五八番
金融　月賦定期　金融　若竹町一丁目　七福商事合名會社　電話六二三三番
電話商品　賣買高價　三成社　月賦電話並に長短期用立　園秘密嚴守
小口金融　官公署ノ御方ニ迅速御用立　西門市場裏バス通中橋　電四九二七
土地建物管理　同仲介賣買並ニ金融斡旋　東門町北二條　電六六二〇　成信會
藥種商　淋病に黑燒　あけびの黑燒　西門町二ノ一　九電四二六三番　化學研究所
料理屋　壽司天ぷら　魚文　都通り　電話五壹八
料理仕出し　辨金本家　電話五四〇五番
雜件　ボストンバッグ新型多種　旅行用鞄類　村井
タオルネマキ男女洋品　ガウン新柄　村井
玄米精乳牛乳　長命所
あか船産制防毒用具　臺北市新世界前　人丸堂藥舖
貸衣裳、貸夜具　公設質札　新起町　電二九二〇番　士屋衣服店



胸やけ・キミヅ・胃痛に
ノルモザン錠
制酸と鎮痛　胃酸過多の治療



帝國大學病院 陸海軍病院 赤十字社病院 御採用
新聞名御記入御申込ノ方ニ（體溫計ノ常識）進呈シマス
發賣元 東京室町 三共株式會社

臺日ハイキングコース（臺北近郊篇）一冊金一圓
發行所 臺灣日日新報社

齒痛にソレ今治水

明日の日本を強くする！

森永ミルクキャラメル　五錢・十錢

無敵 戰闘帽進呈
森永キャラメル二十錢ごとにポスターの出てゐる菓子店でおもとめ下さい

森永製菓株式會社

K—133

國定忠次 (61)

長谷川伸作
岩田專太郎畫
（禁上演上映）

浮浪の士（三）

盤石は早道の名人氣取りで、さッさッと歩いてみせたが、日程に佐源が追いてゐないので、菅の笠は、五足めに鼻先からずり落ちた途端に踏みつぶした。

「はッはッは。大笑ひだ」

冷評が出たので、盤石がむッとした顔を向けた。

畑の菜の花の、黄色を背に負つた形で、二十五歳にしては老けた顔の、國定村の忠次郎が、頭皆をひねくつてゐる。

「手前だな、笠の庇をあつと上げて顔をみせろ」

「そら見ろ」

「おッ手前は」

「忠次郎さ。盤石、去年の夏の向歴の指剣き衡は まだ眼汁が出るか」

盤石をぶるぶるふ忠次郎の顔は、世間噺をしてゐるやうに笑つてゐる三公はびくびくもので、盤石の顔と、忠次郎の顔とを見較べてゐる。

「太平岩手計頭様」

「馬鹿め、そんな事を訊いてやしねえ」

「上田村はお旗本土岐下野守様のご領地で、百石きッちりだ」

「やいやい、止せッ」

盤石が制止を何度やつても、忠次郎は更に受付けず

「東小保方村は千二百石ばかりでお旗本久永様のご領地、西小保方村は松平河内守様のご領地で三百五十石だらうだ」

「いい加減にしろ、だれが、御領主様の名前を訊いた」

「佐位郡四十ヶ村の内、俺の村の界隈だけでも伊三郎なんて人の物ぢやねえ、廉乎としたお方のご領地だと、手前が知らめえと思つて教へてやつたのよ」

「それは表向きの話だ、俺のいふのは裏だ、ご判形の裏路のことだ」

「ああ裏の話か。裏となると、いくらここが首の笠掛の原の後だとる。

「だれかと思つたら忠次郎か、恰度いい処で會つた。お前この頃、國定村を根城にしてあつちこつちで盆を布いてテラを取つてゐるさうだが、さうか」

「ああ、さうかも知れねえ」

「だとすると、一體それは、だれに盆を開かしてやつてゐる事だ今更いふまでもねえ、國定は元より小保方、田部井、上田、あの辺一體は俺の親分、島村の伊三郎の縄張所貸場所、賭場の上り場所だぜ」

「待ちよ」

「何だと待て、何か違ふんだ。佐位郡四十ヶ村、残る隈なく島伊三の物だ」

「それが違ふんだ盤石。俺も俺の親分の悪い渡世だが、手前よりはちッと物知り、佐位郡四十ヶ村みんな知られえが、お手近のところは、博徒がいくら無骨でも知つて知つてゐる、俺が村の東西二ツの國定は前橋の松平大和守様の御領分で石高は五百五十七石七合餘り」

「だれがそんな下らねえ事を訊いた、さうぢやねえ、四十ヶ村はみんな」

「田部村の田部井の石高は四百二十石か少し切れる、御領主様はお旗本……いつて渡世といふものがある、小ちやい声でいはう」

「大きな声で云へ。聞いてゐるのは他には鰯々ぐらゐのもんだ、安心していつてみろ」

「あのなあ盤石、上州佐位郡ばかりには限らねえ、新田、佐波、山田はいふまでもない、勢多、群馬、利根、どこだつてここだつて、男の渡世、次第の ものなんだよ」

「さういふ気でゐるのか、縄張りは腕次第に切取りしていいといふんだな」

（右欄続き）

「さうだ、腕にさうだがこの渡世が開けてこつち、縄張は早く覗くしろと鄭へが今だに隠れてゐねえ」

「ふうむ、すると手前はいつの何日に、鶴振を鳴く鳴ぐした、云つてみろ」

「今盤は賭いてゐる筈だ、島村へ行つてゐるよ」

「来てゐねえ」

「ねえ、そんな物は今だ…にねえ」

「百々村の紋次郎いさんから行つ」

「てゐる」

「エッ」

百々村といふのは伊勢崎から約二里、例幣使街道の境宿に接した伊勢崎寄りの村である。

忠次郎はにやりと笑ひ、都からのがつた。

カナ文字ニュース

△ワガ海軍空襲部隊ハ　二十二日モ　南京ヲ　クシシフシテ　軍用列車ト　二驛ヲ　バクハ　シマシタ　マタ　廣東モ　バクゲキ　シマシタ

△チカゴロ　軍事機密ニ　ワタル　ヤウナ　コトガラヲ　ウツカリ　シャベツタリ　根モハモ　ナイコトヲ　物知リラシク　言ヒフラス　モノガアリマス　コレワ　バツセラレマスカラ　オ互ニ　チユウイ　シマセウ

ボルネオの子供の遊戯を拾ふ（下）

サラワク王國クチン 本社特置員 大犂生

◇地藏鬼ごつこ

地上又は床の上に、半径四十糎の丸を、木片又は白墨で描き、其中に一人の地藏さんをちつと立たせる。次にそれと同一中心点にて半径七十糎位の円を描く。此円の外に一人の鬼を作つて置き、他の者は円内のみを其居所とする。鬼は円外を自由に廻つて、円内の人を捕へる。此鬼に捕へられた者、又は円外に出た者が、更つて鬼となり、元の鬼は円内に入つて、地藏さんとなり、地藏さんは、人の組に入る。かくの如く何回でも繰返してする。

◇鰐河渡り

運動場の中央に、任意の長さに河を作る。河の中に一人を鰐として入れる。鰐は此河以外に出ることは出來ない。然し此河では、人間を捕へることが出來る。次に此河以外の場所に人間を自由に配し、人間は随意に此河を往來する。鰐は往來する人間をねらつて捕へる。人間を捕へた際は、人間の組に入り、捕へられた人間が代つて鰐の役をする。

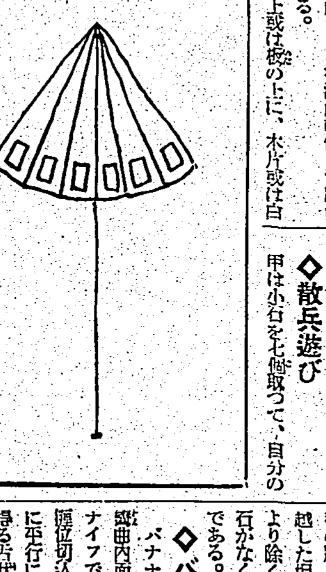
◇手つまみ

円座した数人の者が、皆右の人差指を中央に向つて突出し、円形をかたちづくる。其中の或る一人が、任意の場所から、右廻りに、「タ、レ、ガ、ノ、キ」と言ひつつ、各人の指を軽く一つ一つおさへて廻り、キに當つた指は、指を列外に除ける。其次は、除いた次の指から「タ、レ、ガ、ノ、キ」と言ひて廻り、キに當つた指を除く、かくの如く幾回も繰返し、一番最後に殘つた者は、皆から手をつまれる。つまれた者は、次の言ひ手になる。

◇椰子獨樂

椰子の外部の纖維質を除けば殆んど獨樂形として居る。それで椰切りと小刀を使つて、一方を適當に尖らせ、其反面を平たくし、其中心に、錐で小孔を穿ち、マッチの軸木大の丸くけづつた割竹を立てると、立派な獨樂となる。非常に作り易い。軸木を親指と中指との間にはさんで、强くひねるとかなり長い間ひとりで立つてしまふ。又軸木を除けて、廻してもよい。

◇傘形カード射的



紙卷十本をマッチ箱狀に、厚紙で包裝した煙草の外被を伸しつけて、平たくすれば、縦七・四糎、横六・一糎の一重紙カードが出來る。此カードを深山商側して勝負をする。

地上或は机の上に、木片或は白墨で、一直線イロを引きイロを約百五十糎、ロハを四十糎とし、ロの両側面に、一枚のカードがおける程度の間隔を以て、ハを中心とする傘の骨を三本宛描き、ロよりて両側面に、傘線の縁を丸く描き、イロを柄とする傘を作り、傘骨と傘骨との間に、縁に沿ひて、六枚のカードを並べる。カードは甲乙二人に三枚宛出して六枚とする。甲乙二人各一枚宛役カードを別に持ち、甲はイ点に立ち、乙の指定したるカードを目掛けて、役カードを投げて當てる。當れば、甲は傘に並べたるカードを全部自分のものとする。

◇小石分け

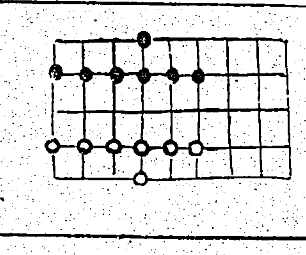
皆同数の小石を出し合せて、五十位の小石を用意する。甲は此小石を半分位任意に取りて、四つ宛分けて行き、端數があれば、端数の數だけが甲の負けとなる。一個も端数がなければ、四つ甲の勝ちとなる。乙、丙と順次此様にして行き、最後に点を取る。勝つたものは、其勝つた数だけ小石をもらふ。出し合せた小石で、足りねば、更に出し合せ、餘りがあれば、等分する。

◇散兵遊び

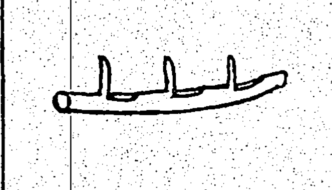
甲は小石を七個取つて、自分の前に、横に適當な間隔をおいて一直線に並べる。乙はそれに對應して適當な距離に、それに對稱となる様に、小石を甲と同数だけ並べる。次に甲は、小石の一つを、右の指先ではぢいて、乙の小石に當てる。乙のどの小石にでもあたれば、甲はあてた小石を自分に取り、はぢきに使つた自分の小石は、もとの場所に置く。次に乙が同様にする。かくの如く互ひに繰返す。場にある小石が、早くなくなつた方が負け。

◇小隊飛棋將

前後行を一より九に至る九行、左右列をイよりホに至る五列の正方形の目を有する將棋盤を作る。甲乙二人で遊ぶ遊戯で、甲は白の小石七個、乙は黒の小石七個を以て、飛將棋をするのである。石の並べ方は、甲は白石をイ四に小隊長として一個、ロ列に一、二、三、四、五、六行迄兵卒として六個、都合七個を置き、ロ列の七、八、九行は空とする。乙は黒石をホ四に小隊長として一個、ニ列に一、二、三、四、五、六行迄兵卒として置き、ニ列の七、八、九行は空とする。石は前後左右の縦に沿ひ一回に一目宛移動し得られ、一回に一移動宛、甲乙交代に行ふ。相手の將兵即ち石を飛越ゆれば、飛越した相手の石は捕虜として、場より除く。捕虜にされた將兵即ち石がなくなつてしまつた方が負けである。



◇バナナの鐵砲



バナナの葉柄の纖維部を切取り、鐵曲內面部も、丸味を帯びた方にナイフで、末口の方より、縦に一握位切込み、それから六握位葉柄に平行に、元口の方に切り下げて得る舌狀の切片を上に立てる。右の様な舌狀切片を、三握位並べて作り、舌狀片を總立てにしておいて、元口の方から、掌の側面で速かに、舌片を叩き倒すと、パチッと云ふ鉄砲見た様な音がする。

◇指取り

甲は右の掌を上向けにして、背を床につけて、前方に突出す。乙丙丁等は、甲の此掌の上に、右の人差指の先端を置く。甲は「イ、ヤ」と言ふかけ声と共に、掌を握る。乙丙丁等もヤの声と共に指を手早く引く。掌と一緒に甲は、掌を引く時迅かの指を捕へる、甲の手に捕へられた者が其次に、掌を上向けに出して、捕へ手となる。

◇馬打ち

甲乙二人手の掌く様に、差向つて坐し、互ひに両手を差延して、相手の手のつけ根を、掌で軽く次の如く一緒に言ひつつ一回打つ。

「馬打ち、馬打ち」

次に手を少し引きて、甲乙の掌が交互にはさまる様にして、次の如く言ひつつ、互ひに掌を三回打つ。

「一、二、三」

之を幾回も繰返す。

◇錢投げ

地上に標片にて、長さ三十糎位の横線を引き、これを足場とする此足場より百七十糎位離れて足場線に平行なる長さ十五糎のイロ線を引く。其両端は、イロ線に、直角なる短き線をつけて、甲は足場線の処に立つて一錢銅貨を投げ、イロ線に當てる。當たれば、銅貨二枚を両手の中に入れて振り、地上に落し、両銅貨の表裏が一致すれば勝ちとなる。投げた銅貨が、イロ線にあたらぬか、或は振つた銅貨の表裏が一致せなければ、乙が代つてする。

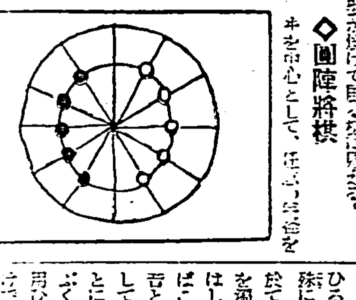
◇球入れ

地上に木片にて、三十糎位の横線を引き足場とする。其足場から百七十糎位離れて、径六糎深さ三糎位の丸い穴を掘る。甲乙丙等は各自一個宛、グラーと云ふ丸い果實を出して場に置き、甲は此グラーの一個を足場より、穴の中に入れる。入れば場に出した球全部を取り、入らねば次の乙が代つてする。

◇頭から煙を出す法

紙卷煙草の先に火をつけて、火をつけた方を口にくはへて、其反對の方を、頭の髪の毛の中に差込んで、口から息を吹き込むと、頭の毛の中から煙が出る。丁度頭が焼けて居る様に見える。

◇圓陣將棋



半を中心として、任意の半径を[illegible]交点を、イロハニホヘトチリヌルヲとし、更に第一の円より小なる適當の半径を有する第二の円を描き、十二直線との交点を、ワカヨタレソツネナラムウとす。但しイはワと、ロはカと同一直線上にある如くする。次に白小石五個を、カヨタレソに置き、黒小石五個を、ネナラムウに置き、ワ及びツは空位とする。線の交叉点を、小石の置場とし、一回に一目宛動き、自由交互に、一回宛小石を動かし、一移動にて逆し得る相手の小石は食ひて、即ち場より取除きて、相手の小石のありし場に進む。小石のなくなりたる方が負けである。

◇測り取り

甲乙は小石一個宛出す。次に甲は稍隔たりたる任意の距離イロの二点に、各一個宛の小石を置き、イ点よりロの方向に向つて直角に右の手の人差指と中指との二本を並べて出す。乙はそれに並べて、ロの方向に、甲と反對の側よりイロに直角に右の手の人差指と中指との二本を、甲の指に接して並べる。甲は第一回に置いた指を上げて、ロの方向に乙の指に接して並べる。次に乙がかくしこれを繰返して行く。指が丁度ロの小石に達した者が、場に出した小石を取る。

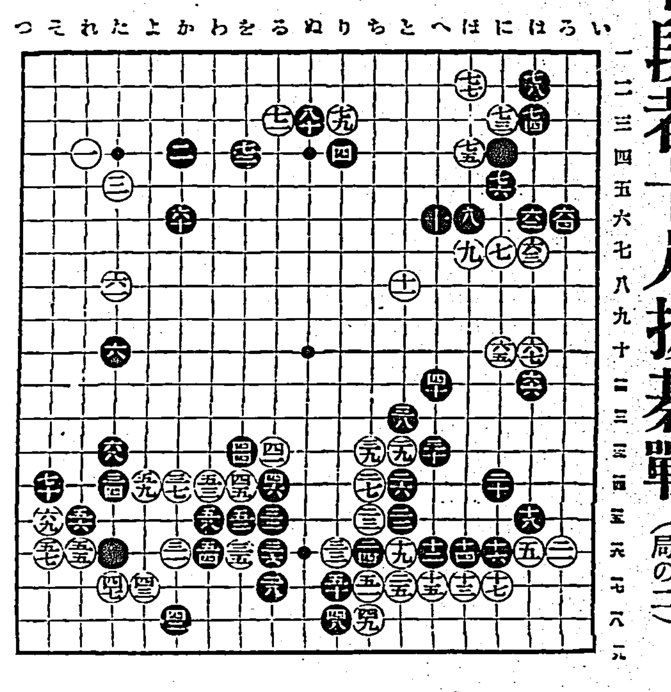
有段者十八抜碁戰（第廿二局の二）

（本社主催）

橋本氏二勝同

四段 橋本國三郎

二子初段 前田眞浄



○四一る一三 ○四三よ一七 ○四五を一四 ○四七た一七 ○四九ち一八 ○五一ち一七 ○五三わ一四 ○五五れ一六 ○五七そ一六 ○五九ニ一四

●四二か一八 ●四四を一三 ●四六る一四 ●四八り一八 ●五〇り一七 ●五二を一五 ●五四わ一六 ●五六れ一五 ●五八わ一五 ●六〇か六

○六一た八 ○六三ほ七 [illegible]

●六二ほ六 ●六四ろ六 ●六六は一一 ●六八た一三 ●七〇そ一四 ●七二る四 ●七四は三 ●七六に五 ●七八は二 ●八〇ぬ三

自評 橋本國三郎

●…第五一は單に二を一七と曲る方が多分味が良い●…第五八に手を抜いても死形ではない●…第六八はこに一一とすべし又ここを打つならばこれ一三ことで[illegible]

タバコの謎を解く（下）

植原路郎

煙草の文字と莨宕との相違は、以上述べたところに依つても異つてゐる点がわかるであらう、新井白石の考證してゐる如く、全く両者別個のものであること、これに依つても明かである。然るに、相當の学者であつても、今日なほこれを誤つてゐるものが少くない（莨宕の文字は我國では延寶年間に既に現はれてゐる）但し、蜀山人は煙草擬議者であつたから、煙草のことを、わざと莨宕と記したものと見ることが出來よう（因みに蜀山人は煙草の文字を嫌ひ、烟病草、好疫草、放火草、太鼓口、大臣風などの文字を用ひて得々たるものであつた

また、方言としては「たばこ」を休憩、休息の意味に用ひ隠語としては、火事の意味にも用ひられる場合がある。岩手縣、宮崎縣、秋田縣、山口縣の一部に於ては日用語として煙草以外休息の意味に用ひるところが相當に多いといふ殊に興味深いのは秋田縣の一部に於ては「たばこ」と第二音のこを濁音して「中休み」の意味を表はし、鹿兒島縣の一部に於ては「たばこ―する」と、「ここの下を長音とし「休息する」といふ動詞として用ひてゐる所もあるといふとにかく、タバコは「ちよつと一ぷく」であるから、休息の意味に用ひても、決しておかしくないわけである

さて、タバコの語源については、その考證も々なるものがあるが、大別すれば次の四説に歸着することが出來ると思ふ

(A)スペイン人もしくはイスパニア人がアメリカ土人のタバコを吸つてゐるのを發見した地がトバコといふ土地であつたといふ説

說明1……中部アメリカに屬するカリブエヤン群島中にトバゴ島と呼ばれてゐた一小島があり、この地名から轉訛したものだと傳へられる

說明2……メキシコ灣に遠からぬユカタン地方（フロリダ灣にのぞんだ地点）にトバスコ（台湾に淡巴菰と訳するもの[illegible]）といふ地名が殘つてゐる。ユカタン地方は歐洲へはじめてタバコの種子を持ちかへつたフエルデナンド・コルテスの探険した地方で、野生タバコが密生してゐた土地であつた。この說をもつて、トバスコ說[illegible]

(B)トバコに煙草を意味する[illegible]

說明3……往古中部アメリカのカリブニヤン群島に住んでゐた土人は[illegible]

(C)[illegible]

說明4……カリブ族、ハイチ族もしくは西印度諸島土人の土語たる「トバコ」の語は何れも煙草そのものではなく吸煙具であつたといふ說もかなり用ひられてゐる

附記……西洋仙洞著仙洞隨筆によれば「タバコは今を去ること四百餘年西暦一四九二年（明應二年）コロンブスのアメリカ大陸發見の際スペイン人が西印度諸島のタンバコ島から携へ歸つたのが、そもそも歐洲における最初のタバコ輸入である」と

更にタバコの稱呼傳話ともいふべき一節が古文書に見られる、それは寛保四年版、西川如見著はす所の『長崎夜話草』中の一文である。―「煙草、蠻人椅子を持ち來りて、長崎櫻馬場といふ所に植て、より普く世にひろまれり、此故に今も櫻馬場のたばこは、色も香りも他所とは格別なるものなり、此草は日本の東方にあびりかといふ国あり、此国に一人の美女あり、名を淡婆姑といふ国中の男子、此女を慕したふ者甚だ多かりし、死せし後まで世になつかしむ人多くて、或る時一人の男子此墓に詣でしに秋の日早く暮れにければ、其墓にて通夜せしに夜更けて甚だ飢たり、依てそのあたりを探りみれば、草のかうばしきあり一葉をとりて喰ふに飢怨ちにしてやみ、身温かに冷風肌を犯す事なくして瘴氣を防ぐ毒酒を飲むがごとし、此故に南蠻草と號しまたは煙酒ともいひ、あるひは相思草ともいへり是より世界万国に流布す、一度此煙を吸ひぬる人は是を忘れんとして忘る事あたはず、相思草の名目なるかなと」

地方近事

蘇澳

▲十円を獻金 蘇澳郡蘇澳庄字蘇澳二十九番地陳阿茂方より午後一時出火全焼一棟半焼四棟を出した火災は蘇澳創まつての大火にして當時既報の通りであるが蘇澳消防組員と共に消火の任に當りし蘇澳庄丁國員余桐源二十歳の當時に於ける働きは目覺ましきものあり、危險區域に突入して消火に努めた結果消防組の活動と相まつて漸く消し口をとりたる時火炎に包まれ治療三週間を要する火傷を負ひ當時模範壯丁團員として激賞の的となつて居たが九月二十日蘇澳保甲聯合會から金十円を賞與せられたるところ同氏は直ちにこれを國防獻金したしと郡當局に其手續きを依賴したが庄民一般は同君の行為に感激して居る

玉里

▲國防獻金 九月十四日乃至十九日迄の玉里支廳下住民の國防獻金は左の如し

五円陳音山徐木端、一円同潘金花仔、一円同潘阿祿、一円同潘大才、一円同李金碌、二円同林阿鳳、一円同潘阿洋、一円同潘進生、一円五十錢同林金河、一円同潘榮財、二円同潘耶西、五円同潘前金、五円同蔡牛、四円同潘阿來、三円同陳天送、一円五十錢同徐新才、一円同何阿文、一円同賴盛巳、一円同潘滿仔、一円同潘阿碗、一円同劉枝興、一円同林幼仔、一円同陳東明、一円同蔡登祿、一円同潘阿才、一円同潘阿來、一円同蔡心到、一円同潘金得、一円同潘文龍、一円同潘石能、一円同張榮欽、一円同劉阿木、一円同温文演、五十錢同杜文內、一円同陳品尚、十円二等陳淼、十二円大庄基督教會代表者林清埃、十円觀音山曾金福、一円同許木火、十二円末廣區秀元、十円觀音山謝木來、三十円同賴安邦、一円同楊亞玉、一円玉里曾祖熊、五十円玉里李鄰山、五円同鄭氏珠、五円同黃朝元、二十円同張紹基、五十円同陳銅玉、二十円同張紹基、五円(匿)玉[illegible]

內埔

▲時局與書官 內埔郡內埔公學校では支那事變の進展に鑑み時局の推移を正確に認識せしめ一層國民精神を作興し暴戾以て現下時局を克服すべく左記の通り日支事變の活動映寫を開催した

海山

▲獻金 海山郡板橋街の陳茶鍋氏は十七日郡役所に林郡守原野課長を訪問在郷軍人會の兵器購入資金として金五十円國防獻金として金五十円也を寄附申出をなした

▲從軍志願 板橋街本島人青年は今回の支那事變の擴大に伴ひ我が地方より出征軍人の勇しき出發狀況を見て本島人なる為め軍人になることを得ざるを遺憾とし國民義務の一端を果すは此の時と軍夫で[illegible]と曾瑞昌、江洲林、希英石、王氏、江鍋國、林深保、簡段逸、等が郡役所に願出當局は此の殊勝しき愛國心にいたく感激

▲送別會 十一月一日地方副庄長正に伴ひ北京出張任務會計役古傳清助氏、公埔庄助役兼會計役梁登淳氏林庄財務係に任ぜられた[illegible]祖毛氏二氏の送別會は九月十九日午後四時公會堂にて開催せられ清水庄長の挨拶に對し二氏の答辭あり開宴、時局柄簡素に終始した催ふしであつた

岡山

▲國防獻金 日支事變勃發以來銃後に於ける國民の赤誠は愈々昂りつつあり外宴共榮國一致の美風を遺憾なく發揮し國威宣揚の好機にある際岡山郡（高雄州）も好く内盛一如の美觀を擧げ相次く獻金熱は各方面共將に白熱化する狀態である此の度郡下岡山の五保正は打連れて郡役所に到り左記の通り獻金手續きを依頼した

第一保々正 莊万福 二〇円
第二保々正 王 栗 二〇円
第三保々正 吳振富 五〇円
第四保々正 唐 才 一〇円
第五保々正 許 生 三〇円

▲野球試合（二日目の分）既報岡山分會主催のA組第二次戰は彌陀國對左營國に依つて神社外苑で去る二十日午後一時十五分より彌陀先攻で開始され左營國は一、二回の裏で合計七点といふ大量得点をなし、絶終前半をリードし決定的勝を思はせたが彌陀國の善戰諸腹捕手の活闘好く後半に於て敵失とチャンスに恵まれた猛戰で敗勢を挽回して十三對十のスコアーを以て勝を得たが實に波瀾重疊たる試合であつた競後に觀衆の評言だが試合中說番の宣告（誰が見ても止しき事細なりとも誤審でない）に對し味方の選手にも一言の相談なく[illegible]國民の態度は寒心すべく全觀衆の笑を買つたのである、殊は正しきスポーツマンシップを發揮せよと

北斗

▲不時な流言 北斗郡清淨北斗郡二林庄大八斗莊森威は曾段よく不時な流言の評を飛ばしたに因り二林分室に拘引され取調べの結果罪狀明白であつたので去る十八日郡警察課に身柄を送付目下拘留中である

羅東

▲後援會 現下の非常時局に相應しく〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇出征軍人家族後援會、鄉軍分會、愛婦羅東分會、方面委員、醫師會、街庄教化聯合會及び保甲協會を網羅して結成された羅東郡軍事扶助後援聯合會發會式は二十二日午前九時から羅東郡役所樓上の會議室で舉行された、街庄長を首め折尾州會議員、街庄協議會員其他來賓多數參列、先づ早居羅東郡守挨拶次いで數山郡守の[illegible]聯合會設立の趣旨を說明して後議事に移り會則の審議を行つた處何れも原案通りに可決次いで會長は郡守を推し、副會長は陳非鹹元雨議長に委員は加盟團體長に依囑それより會長挨拶來賓祝辭あつて同十時盛會裡に散會した

映畫ニュース

★舞臺から高座から勇士既に百名

支那事變の擴大と共にあらゆる職業、職業から忠勇なる日本國民として日頃の生活を捨て戰線に馳せ参じ征途のために勇戰してゐるが白粉に身をやつしてゐる演藝界の日頃きらびやかな衣裳、遊藝なお關係からも國家の非常時に際して舞台から、スタヂオからさては高座から勇躍戰線に向つた勇士は既に百名を突破した、お白粉[illegible]役者も、要職しいロマンスや[illegible]の人も、シナリオライターも、[illegible]

武漢は演劇界をいやが上にも昂揚させ「第二の片岡君を送らう」とどの劇團もどの撮影所も連日出征兵士の歡送に涙ぐましい美談を生んでゐるが現在演劇映画界から召集された出征兵士は新國の友田恭助、映画俳優中田弘二、監督の山中貞雄、小津安二郎諸氏を始め主なる人だけでも左の通り多数に上つてゐる

映画界＝松竹大船撮影所、小津安二郎（監督）[illegible]青木勇（撮影技師）△日活京都撮影所、中田弘二、北海疾（俳優）[illegible]△新興大泉撮影所小石[illegible]合吉人、住吉[illegible]臣（監督）本丸彰一郎（俳優）[illegible]撮影所山中貞雄（監督）六部撮影所白井戰太郎（監督）

演劇方面＝歌舞伎俳優、片岡我當、新國＝友田恭助（新國劇）（片岡六郎、木村光止）レヴュー俳優（藤山龍夫、柴田洋、濱田榮二郎、同作家（高合宏）

舞界＝舞踊家（花柳徳之丞）吉村雄輝（林家染太郎、松平操、桂三喬子）（桂屋朝之助、杵屋勝二郎、杵屋勝平）文常盤津（仲郡太夫）講談（錦田愛山）浪曲界（天風軒若龍、浪花軒綾男、天中軒明月、京山東太）

★「月光の曲」特殊公開か

世界的ピアニスト、ジャン・パデレフスキーを隱退生活から起用してロタール・メンデス監督がチャールス・ファーレル、マリー・テムペスト、バーバラ・グリーン出演により英ポールモオル撮影所で完成した未曾有の音樂映畫「月光の曲」は日本ユナイト社に入荷し製作中であつた日本版が愈々完成したので秋シーズン劈頭に特殊方法により公開すべくプランを檢討してゐる、當中劇二巻は凡てパデレフスキーの演奏で終始してゐるが鍵曲「ムーンライト・ソナタ」を弾きこなす妙技は映畫ファンは勿論音樂ファンにも多大の期待が懸けられてゐる

メガホン塔

▲身の上相談は封書に住所氏名を明記するのですか又匿名相談も同じでせうか（一愛者）▲紙上匿名は差支へありませんが住所氏名に明記して下さい（係）▲無記名に切符を發表して入場者は場外に控れて困ることが出來ぬ（公會堂の映畫問題記者）▲日の丸國旗の掲揚の割合等を教へて下さい（同上）

潮汐

潮汐（廿四日）[illegible]

○ミツワ 鼻病液（はなのくすり）

鼻の病氣は油斷がならぬ

鼻加答兒、肥厚性鼻炎、鼻閉塞、鼻出血…………

などでお悩みの方は―

一刻も早く本劑で御治療下さい

簡單に、氣持よく快癒致します

定價壜入 金四十錢

點鼻注入器付壜入 金七十錢

B.35

ミツワ家庭藥

內容明記の高級常備藥

胃を丈夫にしませう

お腹の具合が惡い樣でしたら早速これをお用ひ下さい！

○ミツワ健胃錠（いのくすり）

百錠入 二十錢
三百錠入 五十錢

ミツワ家庭藥は三十二方あつて何れも他に類のない內容明示、即ち製劑の中味を記してありますから安心して用ひられます

東京市日本橋區兩國十二番地

○ミツワ石鹼本舖・丸見屋商店藥品部

○ミツワ制痒膏（かゆみどめ）

虫！に刺された！

皮膚病であゝ痒い！

さういふ時の御用意にぜひこれを一個！

チューブ入 定價二十五錢

○ミツワ螫蟲液（むしのどくけし）

屋內の虫―野にゐる虫―

すべて虫に刺されたら本劑を直ぐに塗ると痒みを止め消毒になる

定價壜入 金四十錢

○ミツワ 制酸錠（さけのどくけし）

お酒の飲過ぎ

宿醉、甘い物の過食などは、其時に苦しいばかりでなく、繰返すと重い胃腸傷害をも招きます。御家庭に本劑の御常備をお奬めします

百二十錠入 二十錢
二百錠入 三十錢

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

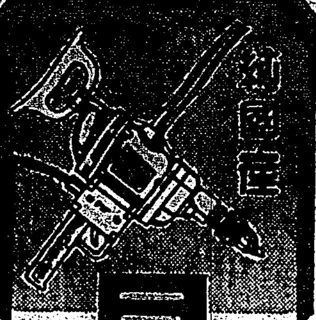
編輯兼發行人 佐々木[illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目卅貳番地 臺灣日日新報社

本紙定價 一部六錢 一ヶ月前金壹圓五拾錢 三ヶ月同四圓貳拾錢・六ヶ月同金八圓・壹ヶ年同金拾五圓也（日本國內及支那送料不要）
廣告料 普通欄一行十五字 壹圓 特別一行 同 壹圓五拾錢 記事割込一行 同 貳圓
振替口座臺灣一〇 私書函臺北三番
電話 代表五八〇一 二一〇二 二五三六 編輯用五八〇三 運動具二四八二

マツダ

燈火管制用電球 明暗切替

東京電氣株式會社



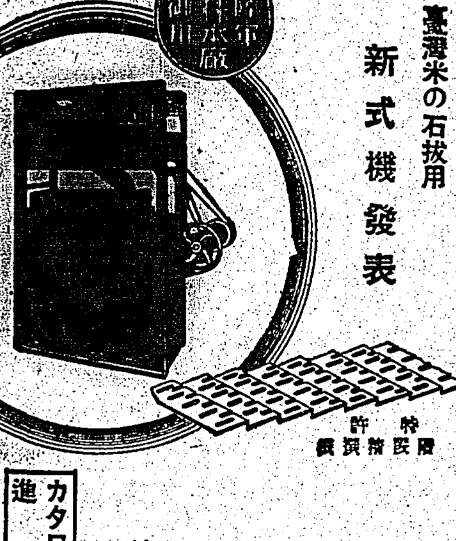
新國産 三菱電氣ドリル

景品附奉仕賣出し 九月十五日ヨリ十月三十日迄（景品數限定ニ付切次第打切）

三菱商事株式會社
三菱電機株式會社

スポイトのいらない
インキの吸入が最も簡單で インキの量がよくわかる―
新型透明軸 ¥3.50以上
パイロット 高級萬年筆

日高式精撰機



臺灣米の石拔用 新式機發表

特許 實用新案

カタログ進呈

株式會社 日高工作所
東京市淺草區駒形一丁目六
電話淺草一八九七・七九七六・八九六七番

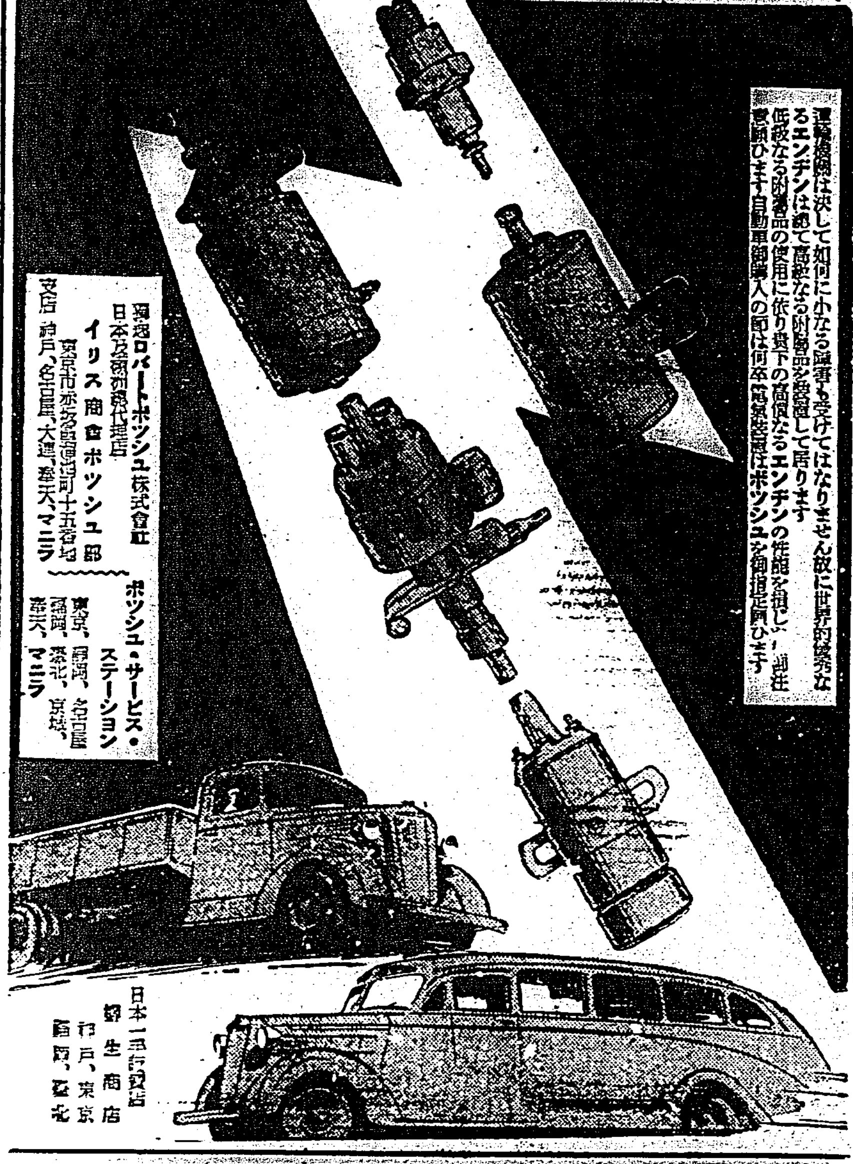
Bosch

運轉中の機關は決して如何に小なる障害も受けてはなりません故に世界的優秀なるエンヂンは總て高級なる附屬品を裝置して居ります 低級なる附屬品の使用に依り貴下の高價なるエンヂンの性能を損じ……御願ひます 自動車御購入の節は何卒電氣部品はボッシュを御指定願ひます

獨逸ロバートボッシュ株式會社 日本及滿洲國總代理店
イリス商會ボッシュ部
東京市赤坂區溜池町十五番地
支店 神戸、名古屋、大連、奉天、マニラ

ボッシュ・サービス・ステーション
東京、福岡、名古屋、臺北、京城、奉天、マニラ

日本一手特約販賣店 野生商店 神戸、東京、臺南、臺北



陸上競技用 運動器具

臺北市榮町四丁目
臺灣日日新報社 運動用品部

お台所の合理化へ

健康釜

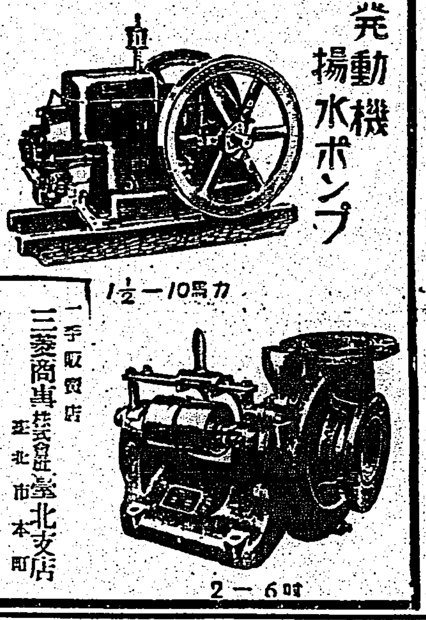
高壓式

本釜は瓦斯、新炭等、如何なる燃料でも御手軽に使用出來ます。從來の釜と違ふ点は燃料は半分、時間も半分乃至三分の一で濟みます。白米飯は何んとも云へぬ味があり、三等米でも特等米以上の味が出ます玄米、半搗、胚芽米は白米飯と同様美味しくなり榮養、經濟です。鳥、魚の丸煮は骨まで柔かくなり小豆大豆等は普通釜の三時間もかかるのが僅か二、三十分で炊けます

販賣店
基隆市義重町 井手商店
新竹市東門町 新原金物店
臺北市榮町 呉之金物店
新竹市東門町 金昌商店
臺中市大正町 振原金物店
彰化市 發本商店
嘉義市 協本金物店
臺南市 松井金物店
高雄市 丸片金物店
屏東市 山下町 順和金物店

トバタ

發動機 揚水ポンプ



1½―10馬力
2―6吋

一手販賣店 三菱商事株式會社臺北支店 臺北市本町

鉄道省・遞信省・陸海軍御指定品

特許 岡田乾電池

台北市北門町十二
合資會社 永淵商會電氣部

ライトインキ

天下一品! 一家一瓶!

ライトの進む所 能率を妨ぐる敵影無し!!!

（大瓶 小瓶 各種……全國の文具店にあり）

2オンス入 定價30セン

ライト

專門製作・販賣

冷却機械

在庫豊富

前川製作所

東京市深川區牡丹町三丁目十九

一番信用ある品質

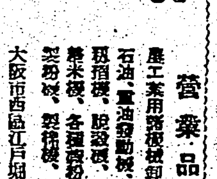
ユアサ

乾電池 ランプ

湯淺蓄電池製造株式會社

木炭鋸屑ガス發動機

屑炭小炭で石油重油同様の出力 経費石油の五分の一以下



五、八、十、十五 二〇、三〇馬力

營業品目
農工業用諸機械卸商門
石油、重油發動機、ポンプ
籾摺機、脱穀機、噴霧器
精米機、各種製粉製造機
製粉機、製綿機、精紡機

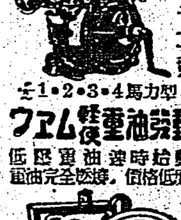
大阪市西區江戸堀北通四丁目
發賣元 中央貿易合資會社

パワール

營業品目 發動機用品

小型輕重發動機

巡回移動作業用 四馬力で十二貫



½・1・2・3・4馬力型

ファム輕便重油發動機

低壓重油使時始動 重油完全燃燒、價格低廉

五―六馬力 八―十馬力

ヤンマーヂーゼルエンヂン

內燃機界ノ霸王

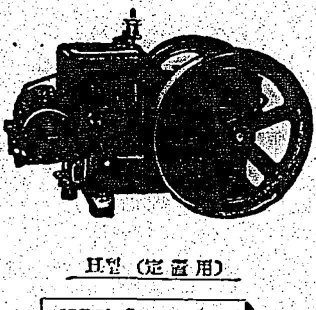
絶対点火紙其他準備操作ヲ要セズ

他機ニ比シ燃料消費料絶対僅少!!

一時間一馬力當リ一錢強

DM型（定置用）

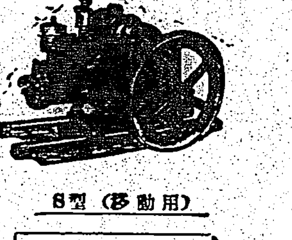
1 DM	25―30	馬力
2 DM	50―60	〃
3 DM	75―90	〃
4 DM	100―120	〃



H型（定置用）

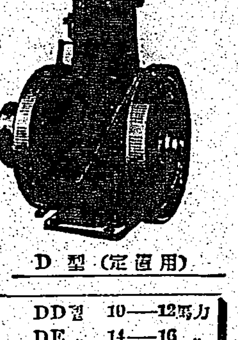
HB型	5―6	馬力
HC〃	7―8	〃
HD〃	10―12	〃
HE〃	15―17	〃

大量製産 在庫豊富



S型（移動用）

S2型	2	馬力
S3〃	3	〃
S4〃	4	〃
S5〃	5	〃

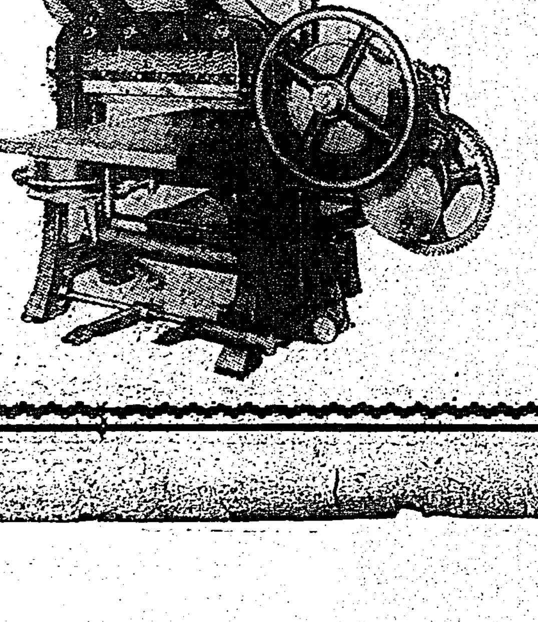


D型（定置用）

DD型	10―12	馬力
DE〃	14―16	〃
DF〃	20―22	〃
2DE〃	28―32	〃
2DF〃	40―44	〃

臺北市表町二丁目
發賣元 株式會社 山岡發動機臺北支店
電話臺北五〇六〇番
本社 大阪市北區茶屋町

營業課目
印刷機械
製本機械
紙截機械
紙器製造機
パルプ截斷機
綿布絹布見本截斷機
截斷庖刀



大阪市西淀川區野里町六七〇
余田製本印刷機械製造株式會社

臺灣代理店 臺日社商事課

江陰砲臺總攻擊

敵艦一隻は爆沈 他の三隻は火災

空襲部隊の爆擊で

【上海二十三日發同盟】○○海軍航空隊は二十三日午後四時頃より江陰砲臺に對し空中より總攻擊を開始した

【上海二十三日發同盟】わが海軍航空部隊の江陰爆擊は二十三日午後三時三十分過ぎより約一時間に亙り行はれたが敵要塞に大打擊を與へるとともに巡洋艦一隻はわが爆彈四發を浴びて爆沈、江岸に擱坐した、わが方の損害は皆無

【上海二十三日發同盟】第○艦隊報道班發表に依れば二十三日午後三時より一時間に亙る江陰砲臺爆擊で敵巡洋艦一隻を擊破擱坐せしめたる外、他の三艦にも夫々火災を起さしめた

廣東を昨日三回空爆

【香港二十三日發同盟】わが航空部隊は二十三日午前一時二十五分より同八時まで前後三回に亙り廣東爆擊を行つたがこの結果市政府其他軍事機關、政治機關に大損害を與へた、なほ天河、白雲飛行場の格納庫も破壞され殆ど使用に堪へぬ程度にまで爆擊を加へられた模樣である

敵飛行機の損害

大體の見當二百八十餘

【東京二十三日發同盟】海軍省公表、二十三日午後五時十五分發表

一、九月十八日以來九月二十二日に至る南京及び南東方面の空襲において支那軍用飛行機に與へたる損害は左表の通りなり

		確實	稍不確實	計
南京	擊墜	四〇	二	四二
廣東	擊墜	一六	三	一九
	爆破	一〇	七	一七
計		六六	一二	七八

二、八月十四日以來九月二十二日に至るまでの期間においてわが海軍が支那空軍に與へたる實質的損害は左表の通りなり

飛行機	確實	稍不確實	計
擊墜	一五二	五	一五七
爆破	一一〇	七	一一七
計	二六二	一二	二八四
格納庫 爆破	約四八		

三、今次事變勃發以來九月二十二日に至る期間におけるわが海軍機の損失は三十一機なり

上空は零下五度

南京空爆の痛快談

【○○にて二十二日發本社特電】海の荒鷲我海軍航空部隊が三回に亙り南京大空襲をした二十二日記者は○○飛行基地を訪れた、丁度殴り込みが終幕する所だつた、重大任務を終へた勇士達の顔は喜びに輝いて居た「愉快だつたぞ」殴り込みの緒口大尉ははち切れる樣な元氣で機體から飛び降りるや斯う怒鳴つた

我軍の損害皆無だ、此處と此處を爆擊した、この邊は一帶火の海だ

指さした地圖を見ると南京の入口下關停車場ともう一つの停車場だ

途中密雲が物凄いに行手を遮つて居た、是を切拔けて行くとポツカリ雲が切れた、下を見ると南京市街が箱の樣にすつきり見えて居るではないか、停車場の眞上に出ると待つて居たやうに地上から猛烈な高射砲の一齊射擊だ、機の前後左右でドン〳〵

はすつかり影をひそめ今くこちらの獨り舞臺さ、素晴しい成功だつたよ

高度をとつて進む機を包むものは零下五度の寒氣であるとの事、機上から降り立つた勇士達は[illegible]を眞赤にして居る、そして語るや否や待ち切れぬやうに便所へ突進して行く姿には思はず微笑まされた

この時大場鎭爆擊の數十機は爆音高く[illegible]たる編隊で飛び出つて行く、あの無敵空軍！記者は思はず帽子を振つた

我軍艦再び海口を砲擊

軍事施設を破壞

【香港二十三日發同盟】二十三日香港に達した情報によると去る二十一日海南島海口は我が軍艦により再度砲擊され軍事施設は破壞され多大の損害をうけたと

事件は圓滿に解決

英政府滿足の旨回答

【東京二十三日發同盟】ヒューゲッセン大使負傷事件に關し廣田外相は二十二日クレーギー駐日大使を通じ英國政府に回答するところあつたに對し同大使は二十三日午前廣田外相宛左の書簡を寄せ該事件の正式解決を通告した

以書翰啓上致候陳者駐支英國大使が八月二十六日上海附近に於いて二機の飛行機に依り攻擊を受けたる事件に關する貴大臣發信本使宛書翰の内容は正に本使より本國政府に傳達致置候、本使は本國政府より接受せる訓令に基き英政府は本回答に接し滿足せる旨並に右を以て本件を解決せりと看做す旨玆に通報する次第に有之候本使玆に重ねて閣下に敬意を表し候 敬具

昭和十二年九月二十三日

大不列顛特命全權大使 アール・エル・クレーギー

廣田弘毅閣下

荒鷲の羽搏

廿二日の南京、廣東、江陰爆擊

【東京二十三日發同盟】海軍省副官談、二十三日午前十一時十五分發表

一、昨二十二日わが○○海軍航空部隊は前後三回に亙り各數十機をもつて南京を空襲し、中央黨部、航空處、防空委員會及び南京停車場を爆破し數箇所に火災を生ぜしめたり、尙同方面においては既に戰鬪機の大部を失ひたるものの如く僅かにその數機をもつて抵抗したるのみなるもわが軍は更にその四機を擊墜せり

二、昨二十二日わが○○海軍航空部隊は午前に引續き午後二時頃再度その數十機をもつて廣東を空襲し虎門、飛行場の格納庫及び兵營を爆破せり、又○○海軍航空部隊はこれと相呼應し天河飛行場、製造廠、兵工廠を爆擊し夫々爆破炎上せしめ特に兵工廠には[illegible]

三、昨二十二日わが○○[illegible]部隊はその○○機をもつて[illegible]軍根據地[illegible]を空襲し[illegible]一隻に火災を起さしめたると[illegible]

四、以上各攻擊を通じ[illegible]は[illegible]において行方不明機一機を生じたるのみなり

蔣介石遂に都落ち

郎黨を引具し南昌へ

【天津二十三日發同盟】確かなる報道によれば蔣介石は二十一日軍事委員會委員、參謀團及び近親者を引具して飛行機で南京から南昌へ脱出したと傳へらる(寫眞は蔣介石)

澁々支那が借金を拂ふ

日本へ三萬一千磅

【上海二十三日發同盟】財政急迫の折柄國民政府の外債償還、殊にわが國に對する債務履行については甚だ問題視されてゐたところ、わが國に對する債務の九月分償還額及び利子合計十二万六千ポンドの支拂ひに當り國民政府は英、佛兩國への支拂ひを行つたがわが國の受取分三万一千磅に對しては交戰國の故をもつて支拂ひを拒否せんとし國民政府内部の方針も殆ど不履行に決定してゐた、然しわが國受取分の償還金は右公債を所有する外國人にも償還さるべき性質のものであつて若し國民政府がわが國への支拂ひを履行せざる場合は支那公債の全般に亙る惡影響を及ぼすのみならず國民政府の對外信用を失墜する虞れもあるので鐵道部長張公權等はこれに反對したため假に方針を變更しこの程支拂ひを完了した、今年中の殘額尙約二十八万磅あり、戰時膨脹に依り財政の破綻を豫想されてゐる折柄國民政府今後の外債處理方針は極めて注目されてゐる

敵彈を受け乍ら斬る

『突擊』を絶叫しつゝ 戰死した鈴木部隊長

【○○にて二十三日笹盛本社特派員發】十八日佐藤部隊は○○の堅固な陣地に據り頑強に抵抗する敵を攻擊、この戰鬪で鈴木第一部隊長は○○前面の敵陣地に拔刀先頭に立ち斬り込んだが敵彈を胸に受けばつたり倒れた、「突擊」を絶叫しつゝ向ふ起きあがつて數名の敵を斬り伏せたが遂に江南の華と散つた、大尉の壯烈鬼神を泣かしむる戰死の追隨に部下は「それッ隊長を殺すな」とばかりクリークを渡渉、一擧敵陣に飛込み遂に是を占領し逃ぐる敵を殆ど殲滅した、この戰鬪で○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○竹内三針少佐は腹部貫通銃創で重傷、下部第一部隊長は足に負傷、鈴木大尉は東大界の聞人で將進の頭腦明晰前途を期待されて居た

砲擊を開始

【上海二十三日發同盟】我方部隊は友軍と密接な連絡の下に揚行鎭方面の敵陣地に對し二十三日早朝より終日猛烈な砲擊を加へ一發一發と敵の陣地を破壞しつゝあり、夕刻に至り敵の最重要地點の探索なり一齊に砲門を開いた

敵兵續々降參

【上海二十三日發同盟】前線○○部隊には最近支那兵の投降者續出し昨日各前線部隊より五人、八人と送られ既に百五、六十名に達した彼等は相手が日本軍なることも知らず下級將校に強ひられながら戰つて居たもののみであるが、わが軍の陣地の前に敗滅を續けたゞけで[illegible]に對する反感を懷き遂にわが軍に投降し來つたもので投降者は人夫、傳令、雜役に使用され一般に日本軍の寛大な態度を感謝されてゐる

安達隊前進

【○○○前線にて同盟特派員二十二日發】呉家宅の線に進出した安達部隊は二十一日一齊に前進し拒る敵大部隊を蹴散らし細雨をついて突擊に成功したが二十二日早朝更に猛進、梅宅、朱家宅の線を攻略した

敵の精鋭部隊に大激戰の機熟す

羅店鎭 我軍總攻擊開始

【上海二十三日發同盟】羅店鎭前面の○○部隊は二十三日午前九時降雨低く垂れこめる雨空に果敢なる爆擊を試み羅店鎭東方に呼應して一齊に三度總攻擊を開始した、斯くて○○部隊は敵前上陸約一ケ月目の此日敵方面軍司令官陳誠部下の最精鋭部隊たる第十一、第五十九兩師とわが精鋭○○、○○、○○各隊との壯絶な大激戰の機が熟するに至つた

かけ王宅を占據せる敵部隊の一部は千五百に上る敵の五回に亙る逆襲ありわが軍は必死勇を鼓して[illegible]したがこの日敵は陣地に迫り雨を[illegible]しつゝわが陣地前三十米にまで肉迫し來り機銃、小銃、手榴彈を浴せ來つたが、わが將兵はその前面を[illegible]なく粉碎して敵に多大の損害[illegible]

東方を遙拜

【上海二十三日發同盟】[illegible]

五回も逆襲

【上海二十三日發同盟】[illegible]

注目さるゝ韓復榘の態度

今や逡巡を許さず

【[illegible]】[illegible]

支那の外交を赤化する意圖

ソ聯から顧問を派遣

【天津二十二日發同盟】最近國民政府の聯ソ容共政策を見るにソ聯は武官その他飛行士技術家の配給は借款の形式を採りこれを金額に換算すれば一億ルーブル以上のものと稱される、然してこれ等軍事の進行に便するためソ聯は最近武官を南京參謀本部に派遣する外コミンテルン最高幹部を南京外交部の顧問に入れ中國の外交を完全に赤色外交に塗り替へんとする意圖の如くである、斯くて南京政府はソ聯の政策に依り一路共産化の途を辿りつゝあるは事實である

政治も軍事も國府と合流

中國共産黨が宣言

【上海二十二日發本社特電】[illegible]中國共産黨中央執行委員會は今次の事態に關する左の宣言を發表した

一、[illegible]

[illegible]的機構を統一する意圖の下に中國の為め民主的形式の政府樹立を支持するに決定した

四、中國共産黨は紅軍を解散して國民革命軍に改編國民政府軍事委員會の指揮下に屬せしめることに決定した、右革命軍は軍事委員會の命令下に前線に於て國防事務に服する用意あり

右宣言は從來の抗日統一戰線の政策を更に一歩進め是により中國共産黨は政治軍事の兩面に亙り完全に南京の方國に合流しその指揮に服する旨を宣言したもので西安事變以來屢々傳へられた國共合作に一新紀元を畫するものである

歐洲は危機に直面

米ハル長官が警告

【ボストン二十日發本社特電】ハル國務長官は二十日ボストンに於て新聞記者團と會見、[illegible]

一ケ月間の銃殺二百に近し

ソ聯の肅正工作

【モスクワ二十二日發本社特電】赤の獨裁者スターリンの肅正工作には今猶驚愕され全國民を震撼させてゐるが、ハバス通信モスクワ支局の報ずるところに依れば八月四日から九月四日までの一ケ月間に銃殺されたものの合計百八十二名に達したと云はる、この外[illegible]

れた極東共和國の人民委員會議長(首相)は十名、中央執行委員會議長(大統領)は五名に及び、最近銃殺されたものはバシキル共和國中央執行委員會議長カムピエフ氏外二名で、各共和國の人民委員の態度は恐怖に堪えない程で中には一夫多妻主義を實行したため罷免された者もあると

生産擴充への協力が大切

結城總裁の車中談

【宇治山田二十三日發同盟】結城日銀總裁は二十三日午前八時名古屋發列車で山田に赴き伊勢神宮參拜をなした、車中大要左の如く語つた

生産擴充について今後幾何の資金を要するかについては戰局の發展や國際情勢の變化に依り日滿一體として國防五ケ年計畫の如きも相當修正を加へねばならぬだらうから今これを具體的に決定する譯には行かぬ、然し何れにせよ巨額の經費を要するからこの際事業家が産業の將來を深慮してその擴張を手控へたり或は銀行が産業融資を澁るが如きことがあつては何れも時局認識を缺くものであつて、今後絶對非常的見地に立つて協力して行かねばならぬと思ふ、資金調整法は當分永久的に發動するものであるが、その實施に當つては各方面の意向を充分に斟酌[illegible]

いと考へる、消費生活の品目にも適當の改正を加へるに吝かでない、先般の日銀の當座貸越利歩引下げの結果低金利政策の一段の進行を嘱望されてゐるやうだが現在の金利水準を引下げるやうなことは考へてゐない

避難勸告に佛が申入れ

【パリ二十三日發同盟】長谷川司令長官の南京各國居留民避難勸告に對しフランス政府は二十三日駐日大使館を通じ日本政府に對して抗議的申入れを行つた申入れ要旨と解されるところ左の通り

一、日本軍飛行機の爆擊目標は南京における軍事的施設にのみ局限せられたい

一、日本政府が佛政府代表居留民並に佛軍艦に對し南京引揚げを要求する權利があるとは認め難い

一、日本軍飛行機の南京空襲に依り蒙ることあるべき佛國居留民の生命財産上の損害に對しては賠償請求權を留保する

財政難の支那

回收した舊紙幣を再び市場で通用

外國銀行は一切敬遠

【上海二十三日發同盟】財政急迫から國民政府の紙幣發行は漸く亂脈を呈するに至り、最近遂に民間銀行の既往發行の紙幣が多數市中に現れ始め不安を愈々增大せしめてゐる、右は幣制改革以來政府銀行に回收されたもので、この額だけ所定の發行準備に對して二重發行となつてゐる譯である、この為め外國銀行間では漸次民間紙幣を敬遠する方法を採り右の中には預金の預け入れにもこれを忌む向きもある、斯る次第で交換所の決濟には一切民間銀行紙幣を認めない事を申合せ政府銀行紙幣と劃然取扱ひ方を區別してゐる、最近この種紙幣の流通が更に旺盛となれば紙幣の市場價値に相違を生じ幣制の紊亂は到底免れぬであらう、支那金融界の權威エドワード・カーン氏の調査に據れば漸次減少の傾向にあつた民間紙幣は最近に至り其の流通額は先月末に比し實に三千万元の增加を示し總額一億元と推定されてゐる、この增加分だけが濫發行となつてゐる譯である

南支方面の人心は恟々

ビラの効果は多大

【馬公二十三日發】某所着南支方面の狀況を綜合するに左の如し

一、廣東、汕頭、廈門の各方面は再三再四の我が空海軍の勇猛果敢な猛爆擊によつて軍事施設その他に甚大なる損害を蒙り人心は恟々として極度の不安に陷り、一方各軍隊は我が軍の神出鬼沒、偉大なる武力に恐れ戰き廿二日我が軍から一般無辜の民のために撒布した勸告ビラは豫想以上の效果を收めた模樣である

二、一方周到綿密なる我が海上封鎖は徹底的效果を現はして居り各地とも戎克船の如きは沖に引き上げてゐる狀態である

外人財産被害殆んど無し

【上海二十三日發同盟】わが空襲の後、死のだんまりの一夜を明かした南京は今朝來霧雨がシトシトと降り注いで滅入るばかり、市民は戰々恟々と空のみ見上げてゐる、二十二日の爆擊に依る死傷は[illegible]正確な數は判明しない、中央黨部の建物は全く破壞されたが外人財産の被害は英國系の國際輸出會社の窓が破れた位で外人の損害は殆どない

毒瓦斯彈を射つ

支那軍の暴擧 我が軍憤激

【上海二十三日發同盟】連日に亙るわが猛擊に支へ兼ねた敵は二十二日夜遂に國際公約上嚴禁されてゐる毒瓦斯彈を使用する暴擧に出た、即ち二十一日夜午後九時五十分頃敵飛行機三台は○○○西北のわが田上部隊の上空に現はれ照明彈數個を投下し敵砲兵陣地と信號しつゝあつたが午後十時頃より劉家巷、大場鎭方面よりわが○○部隊に對し約五十發の砲彈を集中した、右の中十數發の砲彈の中には炸裂音の輕微なるもの多數あり、奇異の感を抱かしめたが突如我前線將兵中に異樣なる惡臭のため呼吸困難を覺ゆるものあり、配屬されてゐる瓦斯班の將校は直に警告を發しホスゲン・ガスの疑ひありとし全員に防毒措置を執るやう命令した一方手を盡して瓦斯の性能を調べたが右十數箇の瓦斯彈は性能充分ならざるものと推定されるに至つたが、敵の毒瓦斯にわが軍は極度に憤慨してゐる

九國條約の適用を考慮

英代辨者の談

【ゼネバ二十二日發同盟】日支問題の討議を委嘱された二十三國諮問委員會は日本、支那、ドイツ、濠洲各國に對し參加招請を決議して一旦休會した、この二十七日再開される豫定であるが英國代表部スポークスマンは廿二日英政府が極東の紛爭解決を速かに終結せしむるため九國條約の適用を考慮中なる旨示唆して左の如く述べた

英政府は目下日支紛爭に九國條約の適用を考慮中で二十七日再開の二十三國諮問委員會席上九國條約締約國會議を招請するやう提案することになるかも知れぬ

前線を慰問

衆院慰問團來滬

【○○にて十六日發盛本社特派員】衆議院議員上海派遣部隊慰問團西岡團長以下十一名の代議士は十六日上海から第一線部隊慰問の為め川沙に上陸、○○部隊、○○部隊を慰問したが廿九日上海發ダグラス機で渡台、馬公要港部の慰問、一週間滞在の後歸京の豫定で一行中の政友會大野代議士は語る

渡臺後の日程は總督府で作つて貰ふ事になつて居る私は戰場は初めてだが未だ猛暑との事、陸海軍兩部隊の辛勞が察せられる、昨日は奥部隊長にも會つたが皇軍の士氣の旺盛、勇猛果敢な戰振りには銃後の國民の一人として感激して居る次第だ、支那軍も假陣の宣傳で漸く士氣を保つて居るに過ぎない、何れお伺ひするから貴紙を通して宜敷く傳へて呉れ給へ

水産會總代會

【朴子電話】東石郡下に於ける台南州水産會總代會議員の選擧は(定員二名)二十二日午前十時より郡役所に於て行はれたがその結果左記二名が當選した旨發表された

△朴子街 黄 典 △布袋庄 黄 媽 △東石郡 蔡 燦 黄 裕

會事

△臺北人類學會 二十五日午後二時より帝大土俗人種學教室、講演「歐洲旅行談」移川子之藏教授

商業登記公告 ●臺陽興業株式會社(變更)昭和拾貳年八月貳拾五日取締役辻井宗次郎ハ住所ヲ高雄市入船町壹丁目拾參番地ニ移轉ス 昭和拾貳年八月[illegible] 昭和拾貳年七月參拾壹日監査役[illegible] [illegible] 右昭和拾貳年九月貳拾貳日登記 臺北地方法院基隆出張所

株券紛失公告 [illegible] 株式會社 [illegible] 昭和拾貳年九月[illegible]

大阪商船 臺灣出帆 [illegible]

近海郵船 基隆出帆 門司神戸行 [illegible] 香港行 [illegible] 沖繩行 [illegible] 天津行 [illegible]

辰馬汽船 出帆 大和丸 富士丸 宮崎丸 十月八日 正午

大連汽船 基隆出帆 桐葉丸 宮殿丸 九月廿一日基隆發 大連直行 山東丸 十月一日 午前十時 山西丸 十月十一日 午前十時 丸一組 基隆 高雄

相談 上民一法律刑事一般 中野法律事務所 臺北市大平町二ノ九七 (電話七三一九番) 前臺南地方法院判官 法學士 辯護士 中野峯夫 事務員 古谷

兒玉町三丁目・入院室完備 大磯內科 醫學博士 大磯友明 電話六六四八番

內科 小兒科 レントゲン科 醫學博士 久保全 基隆市日新町二丁目角 (入院隨意) 電話八三八番

くすりをあわせます 處方調劑致します 信生堂藥局 臺北市榮町四丁目十一番地 電話三三八九番

清酒 若翠(ワカミドリ)

臺灣に於ける勞力と勞銀問題
本社主催座談會に聽く (十五)

◇藤江氏(大倉土木) 失業者が一万八千人あると云ふ話でありますが勞働者が十八万人あれば其の一割が失業者即ち一万八千人あると云ふことでありますがその位は何時でもブラ／＼して居るのではないかと思ふ、此の内には勞役を嫌ふ半病人的の者もあり又

純勞働者 としてもあちらの工場が可いとこちらの工場が可いと云つて行つたり來たりしてぶらつく者も相當にあります、之等は常に間數の外に置く必要があると思ひます

◇佐々木氏(殖產局) 最近の統計はないが今までの大正九年の商業調査と云ひ

國勢調査 は詳しい調査をしたのは大正九年と昭和五年にやりましたその時に有業者の統計はなかつたと云ふパーセンテージが昭和五年の統計に較べて居ります、それを見ますと商業で飯を食ふ人が増えて居ります、工業には殆ど變りないと思ひます、であります、かあの傾向から見ると例へば或る程度の生産年齢のものがあるとしても現在の程度では商業に行く傾向が多いのではないかと思ひます、その原因は商業の方が本人の希望上

商業人の 使用人なり勞者になつた方が、生活もいい、體裁もいいと云ふことで商業界に入る者が非常に多いものと思ひます

◇大澤氏(本社) この邊で濟みましたら自由にお話を願ひ度いと思ひます

◇大竹氏(督府統計官) 先程から色々お話がありましたが其の中に勞働統計(勞働統計實地調査)を必要とすると云ふ様なお話がありましたが右の様な統計調査は必要であらうと存じます

勞働賃銀 のお話もありましたが先づ之は近く行はれます家計調査の結果に依つて工場勞働者交通勞働者の最低賃銀と云ふものが判然して來ると思はれます、家計調査は本年十一月から翌年の十月末日まで一ヶ年間に亘り行はれますがその結果は翌々年中に發表されると思ひますからそれ迄御研究願ひ度いと思ひます

◇河村本社長 江花さん、勞働取締に就て問題に就てお願ひ致します

◇江花氏(警務課長) 私が申上げることは格別ありませぬ二三申上げたいと思ひますことは部長さんの申上げましたこと位であります、まあ内地人を持つて來ると云ふことは結構でありますが目下の所は經濟上から支那人を入れることより外にないと思ひます、入れるに就ては

配分關係 をよく考慮する、それから入つて來た者に對しては地域を限つて餘り他出しない、それから衛生上のことに注意をされるとか年期を限つて歸すと云ふ方法を目標として居る一つの事業に限つて交替するとか原則として支那勞働者を入れたら苦力に歸るとして支那人を入れた方がよからうと思ひます、さうでなければ徒らに本島人の經濟力に支障を來す、色々の點で現業の問題として土地の人を待つて來ると云ふことは出來ないことであるが、理由の何たるを問はず

地方的に もつと良く聯絡してさうしなければならぬ、近頃農村の爭議を見ましても土地の問題が中心になつて參りますので土地を取上げられると反對から之が爭議あたりに非常に關係があるのであります、小作爭議も土地問題が主眼で爭議すると云ふことになつて來て土地が少いから少い土地に對する關心が大きくなつて地價が上るし多數のものが之を中心として起る、此點は部長さんと一寸違ひますが人口と

土地との 關係で矢張り内地の様に男工が餘りますのは損得はあるまいと思ひます、女工の問題も内地の方面は統制問題が多少

[illegible]

綜合的に 見ますれば一万五千の失業者があるだらうと思ひますが、先程のお話にもありました如く矢張り同じ數の失業者が時に臺北に見えるとしても一應調査して考慮する場合でも直ちに臺北の方面に移して失業者として計算出來るかと云ふとさうでなく、島嶼に於て失業者になつて來て矢張り働ける人が働く意思がないならば統治的に失業者の數が一万五千であるとしても全體としては

勞働力に 多少の不足を來して居るのではないかと云ふことは事實でないかと思ひます、斯う云ふ考へを私は持つて居ります、それだけで色々のお話を伺つて私共の非常に參考になります

中部米の南送激增
鐵道運賃の割引政策奏功
昨年とは反對の實績

昭和九年七月以前に於ける中部一期米は殆ど其の九割迄は南送せられて居たのであるが其の後臺中商與の發展に基き漸次北送に傾き十一年度一期米に於ては

北送九割、南送一割と云ふ從來とは正反對の比率を示すに至つた、從來彰化附近を分水嶺として南北に向つて移動して居たのであるが前記の通り彰化、花壇、員林附近及田中附近の所謂中部米の大部分が北送せらるることになつてからは基隆は大量の米の殺到に依り上家及倉庫の收容力不足し為に米の野積をしたり又は貨車積の儘船舶を待つと云ふ混雜を呈する場合が往々にしてあつたのである、而も北部方面への搬出所謂南貨物が少く該方面の貨車が空で來る折柄

高雄港は 甘蔗肥料其他輸入用肥料の大量輸入時期に相當し為に此の輸送に支障を來すと云ふ状態になつたのである、そこで鐵道部では臺灣倉庫物流方面の片寄りを矯正する為運賃に依り中部米の南送を誘致することとなり去る六月十五日から八月三十一日迄彰化田中間各驛發高雄着のものに對し運賃割引を實施したのであるが其の結果本年は北送三〇、一七二瓲に對し南送は三六、四二四瓲即ち〇、四五對〇、五五の比率で南北との逆轉の必要を痛感せられて居る次第である因に前年度の實績に次の通りである

(彰化、田中間各驛發)

	本年度	前年度
北送	三〇、一七五	八二、三一九
南送	三六、四三四	八、八七九
合計	六六、六〇六	九一、一九八

あつたものと認められ今後北送鐵道

所期の目 的を達成することが出來とを得たのに付ては特に鐵道倉庫部を通じての臺灣倉庫協力に對する荷主各位の理解と協力と云ふに負つて力

明年度豫算
來週から査定開始

【東京二十三日發同盟】明年度豫算編成は支那事變の發生、臨時議會開會等の關係で例年より著しく遲延してゐるが右に關する各省の要求總額は二十二日に至つて漸く大藏省主計局に出揃つたので大藏省では愈々各省會計官及び關係官を招いて説明を聽取すると共にこれが査定に着手する事になつた、而して各省新要求額は陸海軍兩省國防費を始めとして相當巨額に達してゐるが大藏省としては八月二十四日の閣議決定方針に基き新規要求額は原則として事變關係の經費に止め又既定經費に就ても國防上緊要なものを除き出來得る限り節約を行ふ方針であつて要求金額を通し眞に戰時體制に即應せる内容を盛る意向である、尚臨時軍事費特別會計についても事變の經過を見極めた上で必要と認むる經費を通常議會に提出することになるものと見られる

森永が臺東に
出張所設置

森永製菓會社の臺東郡下大武アロエ山地を適業地とするカカオ栽培計畫は既報の如く企業用地二千甲歩を出願、明東の進出と併立してその後の動きを注目されてゐたが今回本社より玉木技師の來東を機とし、出張所及苗圃の開設、豫東進展を見ることになつた、即ち同社では事業開始の前提工作として臺東街に出張所を設くると同時に大武アロエに苗圃を施設、直にセイロン種カカオ苗の移植育成に着手して各般の陣容整備を急ぎ、愈々初期計畫に向つて邁進することになつた

臺灣米石拔裝置と 新竹州下の實績
米檢新竹支所長 有馬節氏述

臺灣米の石拔きの必要であることは今更喋々を要しないところで之が實行に就ても既に總督府當局の再三の聲明により遠からず檢査施行を見ることであらう、今日まで全島各地に於て業者の研究してゐる所を見ると或る

◇…地方 では寧外容易なことと言ひ或る地方では至難の事業と稱し未だに總督府石拔檢査實施の有無を見極めて居ること第一は未だ石拔機が經濟的に能率を上げて居ない第二は石拔機に依り放棄に拘らず拔せんとする意志なきこと第三は若し石拔の請求ありとするも今日既に出來る石拔の二三は僅かにしか出來ないものと思はれるので是が第一の事項は今日迄今々すべき問題ではなく第二の事項は第一の事項の日程見に延期するものであるから速に解決されることである、第三

の事項は

◇…石拔 をなさんとする場合は全島同業者の最も注意を要すべき事項であらう、以下本項に就て吾が新竹州下の石拔實施状況より見て之を述べる時は管内の籾摺業者及び當業者にあつては石拔機の設置された當初にあつては一般に至り石拔機一台か二台を据付けさへすれば一も二もなく行ける全部除去されるものと信じてゐたが愈々實施するとなつて本年第一期米より州下一二の業者が石拔檢査を施行された結果元の殘存を見る率で一台又は二台を据付けて石拔作業をなした次第である

◇…成績 不良にして同業者は等しく落膽した次第である、その後本年第一期米より州下全般出來に對し石拔施行を實施することとなり檢査所及び州當局業組合の三者相協力して改善の指導をなすべく管内の籾摺業者を檢査所に於てなした結果その裝置に於て不完全であることを發見した為直ちに管内各檢査所に於て業者を集めて石拔裝置につき懇談と打合せを行ひ各工場の石拔機据付の改善をなさしめ大要左の順序を以て裝置せしむることとした

△石拔裝置の順序

籾―荒摺機―唐箕―自動萬石―自動萬石―石拔機―ゴムロール

(1)荒摺機 籾切れ、大なる石、土塊を除く

(2)唐箕 籾、籾切れ、籾殻を除く

(3)自動萬石 籾より大なる土塊を除く

(4)自動萬石 籾より小なる石土塊を除く

(5)石拔機 籾と同大の石、土塊を除く

◇…理由 は生産米中の混入物の除去すべき石の裝置に於て今日までの石拔機の使用を適當とすることの出來得る限り置いたものである、即ちその取つた籾は土石の他の混入物を極めて密接に混入したものであるから從來直ちに石拔機にかけるため如何に精巧な石拔機と雖もその能力を充分發揮し得なかつたことに鑑みてである、即ち籾中の石及び土塊について見ると籾の大きさより小なる石(又は土塊)と籾の大きさより大なる石(又は土塊)と籾と同大の石(又は土塊)の三つに區分する事が出來る、故に籾より大なる石又は土塊は籾より小なる石(又は土塊)のみであるから萬石の網の目の大小により充分之を除去することが出來、殘るは籾と同大の石又は土塊のみである為之を始めて精巧な石拔機に依り除去されるものである、尚同の裝置順序に於て萬石の前に唐箕を使用することは之又甚だ大切なことで即ち唐箕にて籾切れ及び籾殻を充分除去する為萬石に至る

◇…籾は 之等の夾雜物は取り除かれて居り萬石に於て其網目を塞ぐ事なく大小の石、土塊は充分除去されてゐる、若し此の裝置を逆に萬石を先に唐箕を後にするときは萬石の網目は籾、籾切れその他の夾雜物の為塞がれその能率を發揮出來ずその成績不良であることは云ふまでもない、更に自動萬石であるが之は工場の規模に依り所では一台萬石として使用へない所も可成存在して二台目の萬石を据付

臺南州上米
制度廢止の理由
正米市場 貝山理事談

正米市場では二十日の格差決定評議員會にて臺南州上米なるものを認めず、臺南州米に包含することとなつたことは既報の通りであるが右に付臺南州上米地方に反對論の發起らんとするに鑑み貝山常務理事は臺南州上米制度廢止の趣旨につき右の如き談話を發表した

格差の設定と云ふことは地方米の生産改良に重大な役割を持つことは云ふ迄もないことであるが、之を常に現物取引の

實體に觸れ て行くことが亦頗る大切な問題である、米價其のものが變動常なく其の時々の需給に支配され、又先物米價の如きも思惑的先見的の自己確信とでも云ふか、それらの寄へから帰納的に決定されるものであるから、然し乍ら實際の取引状況なり將來の需給關係から見て可及的實體に添うて決定さることは當然の儀である、蓬萊米と

内地米との 格差決定の

戰時資源對策代用品工業の研究 戰時經濟下の資源國策として同會は二十七日午前十時から東京鐵道協會に於て各工業界の權威參加のもとに開かれた(寫眞は同會議會場)

甘藷作の改良は
燃料國策上急務也
甲當十四萬五千斤の記錄
知つて置くべき增收方法

無水アルコールの原料として戰時體制下の燃料國策に貢獻し得る甘藷作を持つ甘藷は從來甘蔗作、稻作に比し輪作の一部として何等の改良もなく粗放依然たる耕作方法を續け收穫の減少を來してゐるが新耕種培方法の改良を依良品種の普及等を考へれば甲當り收量を増加すれば島内の食料飼料等に不足を來す事なくして尚に百万石の無水酒精を製造し得る可能性があるその原料として優秀なる甘藷原種に本試驗場の如く中研農業試驗場の採用した台農二十四號から台農二十二號の十種が最適でその栽培方法として嘗つて新化郡で試みられた甘藷增收作品評會の方法を紹介しよう

甘藷栽培方法

△苗床▽

(原藷の養成時期)九月中に播種する場合は六月中に原藷を播する(苗床の畦幅及株間)畦幅二尺五寸株間七、八寸(苗床肥料)甲當り堆肥十二斤(苗床面積及移植は本田)一分當り播藷六十斤苗籾八に三、四寸の作條を作り、その中に藷種を斜に植付け上を覆ふ(苗の寸法)長さ五寸乃至一尺六、一本六節以上にして植の出るもの不可

八本 畑?

(肥料)一分當り堆肥一千斤、大豆粕五十斤、過燐酸石灰五十斤(植付時期)九月一日より同月末日まで(殼時期)翌年二月上旬から三月中旬(植付方法)畦間三尺―三尺八寸、株間九寸乃至一尺、甲當り植苗數二万七千本―三万本、追肥を七寸以上の間に植え淺く植えて土寄せ等の管理をなし收穫は成る可く晩くして一ヶ月の後に熟度を見て行ふ何の增收法を比較して見る

▲耕作者、同堵山王臣大作、三百二十七斤、甲當收量十四万五千三百二十斤

▲耕作者、同堵山王臣大作、分當收量[illegible]

[illegible]

▲耕作者同郡新化?十八號十一斤、甲當收量十四万二千六百五十斤、又植付は九月一日を以て畦幅二尺四寸に向つて植立をなす、雨に培土して根を深くし、八月下旬根際に土寄せして收穫を行ふ事大切で四月當量收量九十三万四斤當收量一万?

分期費用は二十にして地力は土の固結を避け畦形は西方に向つて高畦をなし排水可能なり、副作物に甜瓜を植へて收穫後刈込みまた鋤りし、八月下旬迄に深耕細土を為せり、畦間二尺四寸五分乃至に向つて前立をなし、雨後培土數十一株を植付せり、甲當二万一千二百七十四本として、苗は床苗に苗の生長により土砂を混ぜ五萬植付を全部分は半分苗と苗を交附するべき?

▲耕作者同郡新化街陳某

[illegible]

政府古米の
賣却は豫定の半分
三十四萬六千石

【東京二十三日發同盟】豫て政府の計畫に依る政府古米賣却は豫定の三十七萬石の中、十七日迄に約十三万石の賣却済みで今後十萬石の賣却の見込みであるが二十日以來二十三日迄の政府賣却高は四十萬石で、目下の所殘高三十四萬六千石は結局半分位しか賣れないのではないかと見られて居る

馬場技師近く來任

[illegible]

米統組合總會
二十七日開催

臺北市米穀商同業組合では來る二十七日午後一時から臺北市公會堂で第十二回定時總會を開催することに決定した

松山の 電氣鑄鋼所
各製糖會社から 車輪の注文頻到

松山の臺灣電氣鑄鋼所は昭和九年九月臺灣拓殖各社組織の下に創設以來二十万円、代表者は後藤貞次郎氏で創業者同郡興業氏等が支配人として直接經營に當つてゐる、創業以來三年多の經驗を經、相當犧牲を拂つた甲斐あつて今日では業績も漸く向上し前年度に向ひ漸く十万圓を探れるやうになつた、能力は創業當時より遙かに擴張され敷地二千坪の内工場の建坪七百坪で從業員八十人の職工を使用し晝夜兼行でその製品の全能力を發揮し製作に追はれてゐるといふ盛況である、製品は臺灣製糖業の金瓜石鑛山に納むる鑛車、其他八十噸、龍口五十噸と製糖會社の臺糖各用車輛、機械部品等が主で今まで明治、鹽水港、帝國、大日本の四製糖會社から注文到來し最近には新竹州も鑛業用鐵道車輛を六方向に受註してゐる、此の外臺灣鐵工所、臺灣礦業、基隆、臺北工業、海北土木、臺灣電力會社等様々な所品の注文を受け漸く一般にも認められるに至り當社との間に契約は一千キロで一ヶ月に十五万キロワットを使用して之により電氣爐は一回に四時間、一日に四、五回反復使用してゐるが、原料の古鐵など二千五百瓲の高熱でどろ／＼に解けたものを鑄型に流し込み車輪其他が出來上るのである、鑄鐵は硅石を粘土に混ぜて作り一日に硅石一百石位によつて成るが供給は今の所島内で十分にありマンガン、シルコン、クローム、ニッケル等を使用してゐる、去る七月製鋼研究會が砂鐵を臺北に開いた時、會員九十餘名が打揃つて同所を視察したその多くは斯くの如き完全な製鋼所が松山にあるとは知らなんだと云ひその製作状況に感心したといふ

大屯郡下の
糖業强化打合

【臺中電話】大屯郡下の糖業强化打合會は廿二日午後三時より郡會議室に於て開催、甲木郡守、内川帝國製糖臺中工場長以下係員等出席上甲木郡守議長となり郡下に於ける蔗作面積擴大及び單位收量の增加に付き打合せ散會した

包種茶の
輸出不振
事變影響で

爪哇向けの包種茶は十數年前の好況時代は一ヶ年に二十四万斤(一件二十五斤)の割合であつたが、南洋及蘭領の在來茶が安いのと不景氣で漸減の一路を辿り昨年の如きは二万餘件に過ぎず、本年はこれが三万件の輸出に過ぎぬ状態であつた、本年は紅茶に傾向の結果茶の生産高が少い上に安南、新嘉坡、南洋一帶の排日貨に依り輸出の途は激減又は杜絶したるに至つた、それで包種茶の輸出する新方針、臺北、大稻埕の文山、大和、大裕、文裕各茶行は春茶の在庫が尚は停滯してゐるから秋茶は買付けず、從つて秋茶の包種茶を作らないで鳥龍と紅茶許り作つてゐる、又南興、義和、文裕、謙記、大裕各茶行が殆ど消島在住の華商

臺南州下
近海漁況
臺南東石の 水揚高

臺南州下近海漁業八月中の臺南東石兩港に於ける漁況は次の通りである

△東石港漁況 八月中に於ける東石港の入港船數は六十四隻入港回數二百九十回其の水揚高十六万二千九百六十七円にして前月に比し四百七十六円(四十二隻)增加を示し前年同期に比し一万一百十九円の減少を示し十九日二十九日は操業休止等に依り漁獲の主なるものには鯛、ボラ、フカ、カジキ、エビ、タイ、ナマズ、ムロ、カジキ、エビ等であつた

△臺南港漁況 本月中に於ける臺南港の入港船數は十二隻入港回數七十四回其の水揚高一万二千二百十八円にして前年同期に比し四十七円の增加を示して居る

[illegible]

日本の漁業の如く三千石の販賣を得るに至つた人は殆どなかつたが、然し臺南の資料に二万餘円の包種茶の發行の注文があつたが、販賣された結果臺南の荷物で引き揚げた結果殆ど一文も回收出來ず困つてゐる模様である

所究研資料同米イタスムゼ業務内進呈
米　株
岡米吉商店
大阪株式取引所 一般取引員
大阪堂島米穀取引所 一般取引員
株 現物賣買
東京、臺北
北、堂島、電話

東西南北

臺灣銀行では、定期預金に於て目下世界的情勢に一般銀行に合して開けず、臺灣の中で働く人も入つてくるので、明るくて良いことが何より有難い[illegible]行台に比べまことに隔世の差があるが行員の保健と、能率も大いに增進されねばなるまい▲尚ほ同行が一般顧客へサービスの意味で貯蓄を施して新設した五百圓の貸金庫(保護函)の開設が足らぬ程か、どうも未だ申込が少々しくないとの事、是は一時間(保護函)の開設の兼時間と云ふので一万円以上の物をとかの時間經費は掛るが防火、防濕、盗難等の絶對安全を保證し、出入りの面倒も案外少なく顧客の利用を誘ふと銀行では申込を希望してゐる▲財務局金融課では今度事務の增大で豫算がとれ、近く事務官一名、屬五名、雇員五名の大擴張をするが、今でさへ狹隘な部屋で、この上机を増やす餘地がないので結局いまだ部屋を求めるか或は南方の調査課分室を取拔し(元金融課たりし部屋)を明け渡してもらひ府内を移すか、現金融課長は府内の部屋割を統轄する會計課長を兼務するのでその點自由なやうでも仲々名案が浮ばず、對策に悩んでゐる

海外經濟電報
廿二日發廿三日着

外國金塊相場

倫敦現物　七磅〇志三片二分一
紐育現物　三五弗

外國銀塊相場

倫敦現物　一九片八分七
同　先物　一九片四分三
紐育現物　四四仙四分三

外國爲替相場

紐育來日爲替　二九弗九〇仙
同米英クロス　四弗九五仙
倫敦英貨爲替　一志二片六四分一

紐育株式

スチール株　八九弗八分一
アナコンダ株　四二弗四分一
工業株二十種平均　一五七弗四五仙
鐵道株二十種平均　四二弗三二仙

外國棉花相場

米棉(現物八仙八九同半均十二錢安)(先物八仙九四同半均十六錢安)

ナシヨナル生絲

當限　一弗七八仙
先限　一弗七〇仙二分一

シカゴ小麥

九月限　一弗〇五仙八分三
同高値　一弗〇六仙八分三
同安値　一弗〇四仙八分五
十二月限　一弗〇五仙八分五
五月限　一弗〇七仙四分一

玖馬砂糖

現物　一仙二分二七
九月限　一仙四六
一月限　一仙三三
三月限　一仙三三
五月限　一仙二五

紐育砂糖

倫敦砂糖

十月限　六志〇六片二分一
十二月限　六志〇七片
三月限　六志〇七片四分三

島内商況(廿三日)

正米閑氣配

二十三日は休會乍ら場外の買氣は依然旺盛で夕景の氣配は蓬萊米上十円五錢、中級九円八十四錢、在來米十円十四錢の見當

臺北肥料相場 現物 卸賣値段

大豆粕相	二四〇	一円四〇錢
内地硫安		一円七〇錢
獨　安		一円九〇錢
過燐酸(七貫五入)		一円六五錢
同(一〇貫入)	一五%(一円七五錢)	
硫酸加里(四入)	一八%	一五円五〇錢

臺北糖粉雜穀

分蜜糖	一九、〇〇
同　車糖	二三、〇〇
錦司白双	二三、六〇
同　直糖	一四、一〇
赤　糖	一四、一〇
麥粉(一等・二等・三等)	四四〇・四三〇・四五〇
南　京	二、四〇
内　地	二、四八
臺　灣	六五、〇〇
丸　島	六八、〇〇
在　來	六〇、〇〇

臺南籾相場(廿二日) 最高價格

蓬萊	一三、〇〇	一三、〇〇
在來	一二、〇〇	一二、〇〇
特等	一二、〇〇	一二、〇〇
普通	一二、〇〇	一二、〇〇

寢冷え
頭痛・感冒・咽喉痛
夏から初秋
……へかけて、今が一番寢冷え―感冒に罹り易い時です。それは蒸暑いので、やゝもすれば夜衣や夜具をはねけて臥がちのため、夜明け前の冷氣に會へば忽ち全身に冷え込みを來たすからです。
治療を早く
水ばながが出る、頭や咽喉が痛む、熱が高い…こんな場合には、すぐノバポンでお手當下さい。…腹冷えは下痢や腹痛など、胃腸も同時に侵されるのですから、この點から云つても、ノバポン錠が理想的―
解熱と鎭痛
……の効果が極めて速く且つ正確です。その上、胃腸や心臟にも障る心配がありません。發疹や中毒の惧もありません。か弱いご婦人やお子達も安心してお用ひ下さい。
價定 一〇〇錠 二〇錠 一〇錠
帝大病院を始め全國の病醫院の先生方が賞用されるノバポンの新劑で、今のない、効の速い一歩進んだ新らしい新劑です。
新らしい 頭痛・感冒藥
ノバポン錠
大阪市東區道修町 東京市日本橋區本町
發賣元 鹽野義三郎商店 ?江兵衛商店
NT. 37